

平成
24
年度
長浜市文化財保護年報

平成24年度

長浜市文化財保護年報

2
0
1
3
・
7

滋賀県長浜市教育委員会

2013.7

滋賀県長浜市教育委員会

平成 24 年度

長浜市文化財保護年報

2013.7

滋賀県長浜市教育委員会



はじめに



文化財保護シンボルマーク

風光明媚なまちである長浜市は、滋賀県の北部に位置し、琵琶湖を囲むように持つ。琵琶湖には名勝史跡の竹生島が浮かび、東には県下最高峰の伊吹山を望むことができます。

長浜市内には国、県、市の指定文化財が 445 件、埋蔵文化財の包蔵地は 830 件を数え滋賀県内でも多くの文化財を有しています。これらの背景には、長浜が古より東海や北陸など各地域を結ぶ交通の要衝として栄え、様々な人々の往来とともに文化に花を咲かせていたことからきています。



長浜市の位置

このたび刊行する「平成 24 年度長浜市文化財保護年報」は、平成 24 年度に長浜市が文化財に関しておこなった事業を掲載しています。内容は、文化財保護を目的に実施した指定、調査、管理等の事業や埋蔵文化財の調査、保護普及のために実施している事業をまとめたものです。

これらの事業の成果を公表することによって、文化財保護センターがおこなっている業務内容を知り、ご理解いただくとともに、今後の文化財保護・活用の一助になることを願います。

平成 25 年7月

長浜市教育委員会

教育長 北川 貢造

例 言

1. 本書は、平成 24 年度に長浜市教育委員会 教育総務課 文化財保護センターが実施した、文化財に関する事業報告を目的とした「年報」である。

2. 本事業の事務局は次のとおりである。

平成 24 年度

長浜市教育委員会	教 育 長	北川 貢造
	教 育 部 長	中井 正彦
	教育総務課長	
文化財保護センター	所 長	森口 訓男
保存管理グループ	副 参 事	山崎 清和
	主 幹	伊藤 潔、二宮 義信、秀平 文忠
	臨 時 職 員	布生 倫子、小林 力
埋蔵文化財グループ	副 参 事	黒坂 秀樹
	主 幹	尾崎 好則、池寄 陽一
	主 査	牛谷 好伸、沢村 治郎
	臨 時 職 員	百々 正志

平成 25 年度

長浜市教育委員会	教 育 長	北川 貢造
	教 育 部 長	中井 正彦
	理 事	福井 清和
	教育総務課長	
文化財保護センター	所 長	森口 訓男
保存管理グループ	参 事	山崎 清和
	主 幹	山本 孝行、二宮 義信、秀平 文忠
	臨 時 職 員	布生 倫子
埋蔵文化財グループ	参 事	黒坂 秀樹
	主 幹	尾崎 好則、池寄 陽一
	主 査	牛谷 好伸、沢村 治郎
	臨 時 職 員	百々 正志

3. 本書の執筆は各事業担当者が行い、編集は池寄が行った。

目 次

第1章 文化財保護関連事業	1
第1節 指定文化財	1
1 新指定文化財	1
(1) 美術工芸品	1
① 重要文化財／竹生島文書 312 通(宝厳寺蔵)	1
② 長浜市指定文化財／木造聖観音坐像 1 軀(源昌寺蔵)	2
③ 長浜市指定文化財／木造僧形坐像 1 軀(源昌寺蔵)	2
④ 長浜市指定文化財／鰐口 1 口(須賀神社蔵)	3
⑤ 長浜市指定文化財／鰐口 1 口(須賀神社蔵)	3
⑥ 長浜市指定文化財／鰐口 1 口(須賀神社蔵)	4
⑦ 長浜市指定文化財／銅鏡 1 面(須賀神社蔵)	4
⑧ 長浜市指定文化財／木造不動明王坐像 1 軀(大聖寺不動堂蔵)	5
⑨ 長浜市指定文化財／木造阿弥陀如来立像 1 軀(浄信寺蔵)	6
⑩ 長浜市指定文化財／金銅十一面観音三尊像懸仏 1 面(長浜市蔵)	6
(2) 考古資料	7
① 長浜市指定文化財／長浜町遺跡出土品	7
② 長浜市指定文化財／神宮寺遺跡出土品	8
(3) 歴史資料	9
① 長浜市指定文化財／反射望遠鏡 国友一貫斎作(長浜市蔵)	9
(4) 無形民俗文化財	10
① 滋賀県選択無形民俗文化財／八日市の太鼓踊 1 件(八日市太鼓踊り保存会)	10
2 追加指定	11
(1) 建造物	11
① 大通寺台所門 附 獅子口瓦2個 雨蓋瓦1個	11
② 大通寺太鼓楼 附 鬼瓦1個 鐘楼 附棟札2枚	11
3 指定種別の変更	12
① 国友一貫斎作望遠鏡 1 基 附 付属品 93 点(個人蔵)	12
② 国友一貫斎作気砲 1 挺 附 空気あっさくポンプ(個人蔵)	12
第2節 長浜市文化財保護審議会	13
1 長浜市文化財保護審議会委員名簿	13
2 未指定文化財指定候補の調査	13
3 第1回文化財保護審議会	13
4 第2回文化財保護審議会	13
第3節 文化財調査	14
1 美術工芸品	14
① 木造阿弥陀如来立像(浄信寺蔵)	14
② 木造千手観音立像(大澤寺蔵)	14
③ 木造薬師如来坐像(黒田薬師堂蔵)	14
④ 木造不動明王像(大聖寺不動堂蔵)	15
⑤ 木造阿弥陀如来立像(成就院蔵)	15
第4節 文化的景観保存活用事業	15
1 長浜市文化的景観保存活用委員会の開催	15
2 文化的景観保存活用調査	16
3 啓発事業	16
(1) 文化的景観講演会の開催	16
シンポジウム「菅浦の文化的景観」	
(2) 文化的景観啓発資料展の開催	16
第3回「菅浦の思い出写真展」	
(3) 先進地研修	17
① 重要文化的景観「高島市針江・霜降の水辺の景観」及び「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」視察	17
② 世界遺産「相倉合掌造り」視察	17
(4) 啓発リーフレットの発行	17
(5) 啓発パンフレットの発行	17
(6) 菅浦自治会の自主事業	17
4 今後の予定	18
第5節 史跡小谷城跡保存管理計画	18
1 保存管理計画	18
2 史跡小谷城跡保存管理計画策定委員会	19

3 今後の予定	19
第6節 指定文化財等保存修理	19
1 建造物	19
(1)重要文化財 辻家住宅主屋保存修理	19
(2)市指定有形文化財 大通寺鐘樓保存修理	20
2 民俗文化財	20
(1)県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／孔雀山山蔵修理	20
(2)県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／月宮殿山車修理	20
(3)県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／常磐山山車修理	20
(4)県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／青海山山車修理	20
(5)県指定選択民俗文化財／富田人形保存修理	21
3 美術工芸品	21
(1)市指定有形文化財 金地墨画梅の図襖保存修理	21
4 名勝・史跡	21
(1)国指定名勝史跡 竹生島 都久夫須麻神社拝殿保存修理	21
第7節 指定文化財管理事業	22
1 国指定	22
(1)大通寺	22
(2)都久夫須麻神社	22
(3)宝蔵寺	22
(4)五村別院	22
(5)西徳寺	22
(6)辻家住宅	22
(7)日吉神社(唐川)	22
2 県指定	23
(1)総持寺	23
(2)池氏庭園	23
(3)日吉神社(井口)	23
(4)全長寺	23
(5)上丹生薬師堂	23
(6)塩津神社	23
3 市指定	23
(1)大通寺学問所庭園	23
(2)東野山城跡	23
(3)別所山砦跡	23
第8節 史跡の現状変更申請	23
第9節 指定文化財保存伝承事業	24
(1)国指定重要無形民俗文化財／長浜曳山祭行事保存伝承(保護団体:公益財団法人長浜曳山文化協会)	24
①曳山祭の現地公開	24
②伝承者養成	24
③保存促進	24
(2)滋賀県選択無形民俗文化財／富田人形保存伝承(保護団体:富田人形共遊団)	25
(3)滋賀県選択無形民俗文化財／下余呉の太鼓踊り保存伝承(保護団体:下余呉子供会)	25
第10節 長浜曳山文化保存事業委託	25
1 平成24年度 長浜曳山文化保存事業	25
第11節 特別天然記念物・天然記念物	26
第12節 長浜市内所在指定文化財数表	27
第2章 埋蔵文化財関連事業	28
第1節 長浜市の埋蔵文化財事業件数の推移	28
第2節 埋蔵文化財調査事業一覧	29
1 平成24年度試掘・本発掘調査地一覧	29
2 補助事業	32
3 公共事業	35
4 受託事業	36
5 整理調査	36
第3章 文化財保護普及事業	37
第1節 先人顕彰事業	37
第2節 文化財説明板設置事業	37

第3節 平成 24 年度 第 59 回文化財防火デー	37
1 防火訓練	37
2 防火査察	39
第4節 文化財講演会・見学会	40
1 文化財講演会	40
2 城郭講演会・見学会	40
(1) 講演会「元亀争乱ー朝倉義景からみる信長との戦い」	40
(2) 講演会「賤ヶ岳合戦の城郭探訪シリーズー賤ヶ岳城郭」	40
(3) 講演会・見学会「もう一人の義経」	41
(4) 見学会「賤ヶ岳合戦の城郭探訪シリーズー田上山城跡ー」	41
(5) 講演会「戦国の合戦と武具・武術」	41
第5節 出張講座(出前講座)	41
第6節 埋蔵文化財展示事業	43
1 文化財保護センター常設展示	43
第7節 見学会	43
1 市指定文化財大通寺鐘楼保存修理 現場見学会	43
2 市指定文化財大通寺鐘楼保存修理 完成報告会	43
第8節 記者発表	43
記者発表	43
新指定文化財	43
資料提供	43
現地説明会	43
修理事業完成	44
第9節 刊行図書一覧	44
第 10 節 收藏文化財の活用	44
1 閲覧	44
2 貸出	44
3 掲載	45
第 11 節 文化財保護普及啓発ポスター	45
第 12 節 子ども考古学教室「土器・まがたまづくりにチャレンジ！！」	45
第 13 節 広報ながはま	46
1 長浜の文化財 毎月 1 号掲載	46
2 北近江の観音さま 毎月 15 号掲載	46

第1章 文化財保護関連事業

第1節 指定文化財

1 新指定文化財

(1) 美術工芸品

①重要文化財／竹生島文書 312 通（宝厳寺蔵）

指定年月日 平成 24 年 9 月 6 日

種 別 古文書

名称・員数 竹生島文書 312 通

5 巻、13 幅、49 冊、2 帖、243 通

時 代 鎌倉～明治時代

所 有 者 宝厳寺（長浜市長浜城歴史博物館寄託）

所 在 地 長浜市早崎町 1664

説 明

竹生島文書は、琵琶湖の霊場として知られる竹生島宝厳寺に伝わった古文書群である。

竹生島は古代から信仰の島で、『延喜式』神名帳に「都久夫須麻神社」の名が見える。神亀元年（724）に市杵島姫命が祀られ、天平 10 年（738）には行基が四天王像を造り安置したと伝えている。平安時代以降は、市杵島姫命と習合した

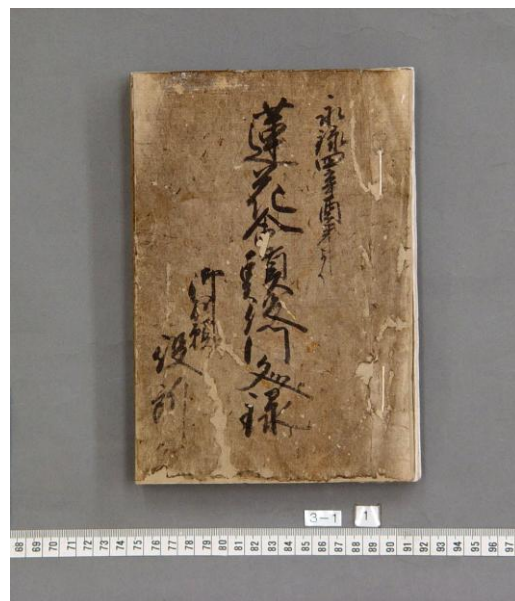
弁才天の信仰に加え、西国三十三所観音霊場としての信仰が盛んとなり、天台僧が多く住んで、比叡山延暦寺の支配を受けた。「宝厳寺」の寺号は 16 世紀の古文書に初めて現れ、江戸時代には真言宗に属して現在に至る。

指定された古文書は、時代別では鎌倉時代 7 通、南北朝時代 21 通、室町時代 152 通、安土・桃山時代 88 通、江戸時代 41 通、明治時代 3 通。内容的には、早崎村などの所領支配、蓮華会などの信仰、造営・勧進、室町～桃山期の湖北政治史にかかわるものに大別される。

鎌倉から戦国期にかけての文書の発給者は、六波羅探題、後醍醐天皇、室町幕府、近江守護六角氏、半国守護京極氏、戦国大名浅井氏などで、世俗権力の保護を受けたことがわかる。とくに浅井氏関係の古文書は、湖北地域史の研究上貴重なものである。

姉川合戦の結果、織田信長から横山城、ついで長浜城を任された木下（→羽柴→豊臣）秀吉は、元亀元年（1570）に初めて竹生島に文書を出し、所領支配や湖上交通権などを認めた。その後も天正 2 年（1574）の領知朱印状の発給、天正 4 年の竹生島奉加帳にみえる 100 石の寄進など、島を厚く保護したことが知られる。

その他、蓮華会と呼ばれる宗教行事にかかわる文書なども豊富で、中世における地方有力寺社の所領支配や信仰の実態を伝えるとともに、北近江の政治史を物語る史料として、社会経済史、宗教史、政治史上に価値が高い。



竹生島文書（宝厳寺蔵）

②長浜市指定文化財／木造聖観音坐像 1 軀（源昌寺蔵）

指定年月日 平成 24 年 4 月 24 日

種 別 彫刻

名称・員数 木造聖観音坐像 1 軀

ヒノキ材製 一木造 古色 像高 37.5 cm

時 代 鎌倉時代

所 有 者 源昌寺

所 在 地 長浜市余呉町上丹生 上丹生薬師堂

説 明

上丹生薬師堂は、かつては隣接する八幡神社の神宮寺で、宝永 5 年（1708）に建立。本尊は秘仏薬師如来立像（重要文化財）。現在は源昌寺に所属するが、管理は上丹生区が行っている。源昌寺は、かつては真言宗寺院だったが、永享年中（1429～40）に洞寿院末となり曹洞宗に改宗している。

本像は、上丹生薬師堂の内陣向かって左側に設置された小厨子内に安置される。低く抑えた垂髻や、丸みを帯びた顔や肩、奥行感を減じた体軀表現など平安時代末期にさかのぼる古風さを残すが、一方で浅く線状的な衣文線には簡略化された表現も見受けられる。堂内に安置される建保 3 年（1215）の本尊・木造薬師如来立像や、近隣の洞寿院観音堂（長浜市余呉町菅並）にある建保 4 年（1216）の木造観音菩薩立像（重要文化財）との作風上の近似性が見られることから、鎌倉時代の作と考えられる。当地方の仏教文化を考えるうえで貴重な作例である。



聖観音坐像(源昌寺蔵)

③長浜市指定文化財／木造僧形坐像 1 軀（源昌寺蔵）

指定年月日 平成 24 年 4 月 24 日

種 別 彫刻

名称・員数 木造僧形坐像 1 軀

ヒノキ材製 一木造 古色 像高 43.3 cm

時 代 鎌倉時代

所 有 者 源昌寺

所 在 地 長浜市余呉町上丹生 上丹生薬師堂

説 明

本像は、上丹生薬師堂の内陣向かって右側に安置される。体軀に対して大きめの頭部をもち、微笑みをたたえて首を軽く左に傾げる表情は彫り込みが深く、喉筋や肋骨を表すことから老相を表していると解釈される。また、両手を拱手して数珠をまさぐる様子を共木で彫出している。寺伝では地藏菩薩坐像とされるが、老相で肋骨を表すこと、持物が地藏菩薩に一般的な宝珠や錫杖ではなく数珠であることから、尊名の特定にはなお検討を要する。可能性としては、



僧形坐像(源昌寺蔵)

僧形神像、僧形文殊像、老僧の肖像などが考えられる。古風さを残すが、線状的な衣文線や袈裟の処理の仕方から鎌倉時代の制作と考えられる。類例の少ない像容であり、鎌倉時代にさかのぼる貴重な作例である。

④長浜市指定文化財／鰐口 1口（須賀神社蔵）

指定年月日 平成 24 年 4 月 24 日

種 別 工芸品

名称・員数 鰐口 1口

正応三年九月廿二日の陽鑄銘がある

鑄銅製 鼓面径 19.6 cm

時 代 鎌倉時代（正応 3 年・1290）

所 有 者 須賀神社

所 在 地 長浜市西浅井町菅浦 菅浦郷土史料館

説 明

須賀神社は祭神淳仁天皇。天平宝字 3 年（759）淳仁天皇が当地に保良宮を営んだとか、同八年恵美押勝の乱後同天皇が隠棲したとの伝説がある。もと保良神社・菅浦大明神とも称した。同天皇の没後 50 年ごとに法要が営まれ、文久 3 年（1863）には一千百年法要が行われた。須賀神社には中世の鰐口が 3 口、近世の鰐口が 1 口伝わり、現在は境内の菅浦郷土史料館に保管されている。

鰐口とは銅または鉄製の円盤状の梵音具（仏教で使用される楽器の総称）で、中心に撞座を設け、中が空洞となり、下半が開いて共鳴するようになっている。社寺の軒先に懸け、前面に布縄を垂らし、参詣人はこの布縄を振って撞座を叩き、礼拝した。大きく裂けた口の形が鰐の口に似ていることから、このような名称が生まれたと考えられる。

本品は須賀神社が所有する鰐口 4 口のうち、最も古い銘を有する。姿形の整った鰐口で、肩が厚く、鼓面の甲盛り（表面の盛り上がり）を高くする点や、唇と目の張出しが小さい点など、中世の鰐口に共通する要素がみられる。鰐口の撞座には通常、蓮華文が表されるが、本品のように素文とするのは珍しい。片面の外区には鰐口としては比較的類例の少ない陽鑄銘があり、銘文から正応 3 年（1290）に栗田重貞によって施入されたことが判明する。これは国指定文化財では 8 番目に古く、滋賀県下では西教寺・松尾寺所有の鰐口に次いで 3 番目に古い作例となる。鎌倉時代における鰐口の数少ない基準作例としてきわめて貴重である。



鰐口（正応三年銘、須賀神社蔵）

⑤長浜市指定文化財／鰐口 1口（須賀神社蔵）

指定年月日 平成 24 年 4 月 24 日

種 別 工芸品

名称・員数 鰐口 1口

正応五年壬辰貳月十一日の陰刻銘がある

鑄銅製 鼓面径 22.8 cm

時 代 鎌倉時代（正応 5 年・1292）

所 有 者 須賀神社

所 在 地 長浜市西浅井町菅浦 菅浦郷土史料館

説 明

本品は須賀神社が所有する鰐口4口のうち、2番目に古い銘を有する。肩が厚いが、正応三年銘の鰐口に比べると鼓面の甲盛り（表面の盛り上がり）をやや抑え気味にしているため、起伏が穏やかである。正応三年銘鰐口と同様、撞座を素文とする。片面の外区には正応三年銘鰐口とは異なり、陰刻銘が表される。銘文から、正応5年（1292）に、「□（栗か）田重弘」が父母の供養のため奉納したことが判明する。これは国指定文化財では9番目に古く、滋賀県下では西教寺・松尾寺所有の鰐口と当社正応三年銘鰐口に次いで4番目に古い作例となる。「□田重弘」については、正応三年銘鰐口の施入者である「栗田重貞」との関連を想起させるが、詳細は不明である。正応三年銘鰐口とほぼ同様の作風で、作例の少ない鎌倉時代の鰐口が同じ地域に2口も伝来していることは高く評価される。



鰐口（正応五年銘、須賀神社蔵）

⑥長浜市指定文化財／鰐口 1口（須賀神社蔵）

指定年月日 平成24年4月24日

種 別 工芸品

名称・員数 鰐口 1口

応永庚寅十月吉日の陰刻銘がある

鋳銅製 鼓面径 22.4 cm

時 代 室町時代（応永17年・1410）

所 有 者 須賀神社

所 在 地 長浜市西浅井町菅浦 菅浦郷土史料館

説 明

本品は須賀神社が所有する鰐口4口のうち、3番目に古い銘を有する。肩厚、総厚ともに厚く、鼓面の甲盛り（表面の盛り上がり）を高くとった堂々たる姿である。両面ともに蓮華形と思われる花状の撞座を表す。片面の外区に陰刻銘が表され、銘文から、応永庚寅（17）年に妙印により、菅浦大明神の鰐口として施入されたことがわかる。正応年銘の2口の鰐口同様、中世にさかのぼる鰐口として貴重であるばかりか、菅浦大明神の鰐口として施入された旨を記す銘文は歴史資料としてみても重要である。



鰐口（応永庚寅銘、須賀神社蔵）

⑦長浜市指定文化財／銅鏡 1面（須賀神社蔵）

指定年月日 平成24年4月24日

種 別 工芸品

名称・員数 銅鏡 1面

嘉禎三年丁酉六月十五日の墨書銘がある

銅鏡 径 22.4 cm

時代 鎌倉時代（嘉禎 3 年・1237）

所有者 須賀神社

所在地 長浜市西浅井町菅浦 菅浦郷土史料館

説明

本品は須賀神社に伝来する銅鏡で、薄い円形の銅板に覆輪をめぐらせるのみの簡略な造作である。いわゆる日本の中世和鏡にみられる背面の装飾や鈕もなく、類例が少ない。吊環が2か所設けられていることから、当初から御正体のように吊り下げて使用することを目的として製作されたと考えられる。背面に嘉禎三年の記年銘があり、僧の名前を記すことから何らかの宗教的用途があったと判断され、古例で貴重なものである。



銅鏡(嘉禎三年銘、須賀神社蔵)

⑧長浜市指定文化財／木造不動明王坐像 1 軀（大聖寺不動堂蔵）

指定年月日 平成 25 年 3 月 27 日

種別 彫刻

名称・員数 木造不動明王坐像 1 軀

キリ材製 一木造 彩色 像高 135.0 cm

時代 平安時代

所有者 大聖寺不動堂

所在地 長浜市大門町上屋敷 135 大聖寺不動堂

説明

不動堂は下草野五山のひとつ、神道山大聖寺の本堂だった場所に建つと考えられている堂舎で、棟札によれば宝暦 7 年（1757）に建立された。現在は真言宗豊山派寺院西林院を含む大門町内の 5 軒が不動堂仲間として共同で所有・管理している。小谷寺蔵孔雀文磬（重要文化財）の弘長 3 年（1263）の陰刻銘には、すでに大聖寺の名が見える。

本像は、不動堂の中央厨子内に安置される。総髪で弁髪を垂らし、瞋目で両目を大きく見開き、上歯列で下唇を噛むことから、真言系寺院で隆盛した「弘法大師様」の不動明王像の姿を伝える。面貌いっばいに大きく目鼻立ちを配した険しい表情で、胸・腹の括れを深く彫り込む。その一方で、膝張に対して体軀の奥行を浅めに取り、衣文線も浅く柔らかな表現とすることから、平安時代後期、11 世紀後半の作と考えられる。



不動明王坐像(大聖寺不動堂蔵)

立像であっても等身までのものが多い湖北地域の不動明王像にあって、本像は半丈六の像高を示す平安時代の坐像であり、国指定文化財の不動明王坐像では 10 番目に大きく、滋賀県下では東門院所有の像に次いで 2 番目に大きい作例となることから、極めて貴重である。

⑨長浜市指定文化財／木造阿弥陀如来立像 1 軀（浄信寺蔵）

指定年月日 平成 25 年 3 月 27 日

種 別 彫刻

名称・員数 木造阿弥陀如来立像 1 軀

ヒノキ材製 一木割矧造 漆箔 像高 83.1 cm

時 代 鎌倉時代

所 有 者 浄信寺

所 在 地 長浜市木之本町木之本 944

説 明

浄信寺は長浜市木之本町木之本に所在する時宗寺院で、本尊は木之本地蔵として知られる地蔵菩薩立像（重要文化財）。寺伝によれば天武天皇 4 年（675）に前身の金光寺を現地に移転し、のちに醍醐天皇が長祈山浄信寺と改号したという。

本像は、蔵内に保管されていた阿弥陀三尊像のうちの中尊で、来迎印を結ぶ三尺阿弥陀立像である。脇侍の 2 菩薩は近世の後補。面貌や着衣には仏師快慶一派の特色が見られるが、特に左腰を引きながら左足を前に出す点や、覆肩衣垂下部の中にさらに衣文を彫り込む点、裳裾を地付まで下ろす点には、快慶の高弟である行快（生没年不詳）の作風がよく表れている。

左足柄外側に記された「□□／法橋行」の墨書銘は下方が断ち落とされているが、作風と考え合わせると「巧匠／法橋行快」と推定される。行快は建保 4 年（1216）に法橋位、嘉禄 3 年（1227）に法眼位を得ていることから、本像はこの間の作と考えられる。また像内からは卷子状の納入品 2 点が発見されたが、願文や結縁交名である可能性もあり、今後の調査が待たれる。

行快の銘をもつ作品は全国でほかに 7 例ほどが知られるが、法橋時代の作である本像はこの中でも古く、美術史上・文化史上において貴重な作例である。



阿弥陀如来立像（浄信寺蔵）

⑩長浜市指定文化財／金銅十一面観音三尊像懸仏 1 面（長浜市蔵）

指定年月日 平成 25 年 3 月 27 日

種 別 工芸品

名称・員数 金銅十一面観音三尊像懸仏 1 面

銅製鍍金、径 55.3 cm、厚 3.7 cm

時 代 南北朝時代（応安元年・1368）

所 有 者 長浜市（長浜市長浜城歴史博物館保管）

説 明

懸仏は社寺の長押や壁面に懸け、礼拝の対象にしたものである。この懸仏は、極めて装飾性豊かなもので、裏面の墨書銘から応安元年(1368) 6 月 17 日、秦守弘なる人物が、「息災延命・家門繁昌・五穀豊饒・天下泰平」などを祈願して、己高山石道寺(木之本町石道)に奉納したことがわかる。



十一面観音懸仏（長浜市蔵）

マキ材の裏板に薄銅板を打ち、鑄銅仏の十一面観音を中尊として、左右に不動明王、毘沙門天の二尊を配する、いわゆる天台宗横川形式の遺品。三尊とも台座と透彫りの光背が付属し、下には透彫り波文があらわされる。さらに中尊には、瓔珞付天蓋で飾られ、火舎と六器を置く前卓が配されている。外区には、飾鋳と三鈷杵の金具をめぐらし、左右上部には懸垂用として彩色を施した獅噛座を取り付けている。

すぐれた美術工芸品としてのみならず、制作年代・願主・造立趣旨等も判明する、中世の貴重な資料である。

(2) 考古資料

①長浜市指定文化財／長浜町遺跡出土品

指定年月日 平成25年3月27日

名称・員数 長浜町遺跡出土品 68点（附瓦1点）

出土地 滋賀県長浜市元浜町・朝日町

時代 安土・桃山時代～江戸時代

所有者 長浜市

説明

長浜町遺跡はJR長浜駅の東側一帯に所在し、羽柴秀吉が整備した長浜城下町に始まる遺跡である。長浜町は49町、10組からなり、秀吉の命によって城下町を整備した町人衆のうち、組を代表する町年寄の十家は十人衆と呼ばれ、町政の担い手となった。

今回の指定にかかる遺物は、長浜十人衆に数えられていた下村藤右衛門と吉川三左衛門の邸宅跡調査の際に出土したものである。

近世初期の長浜町の町割りを示す「正保四年長浜町絵図写」によれば、下村藤右衛門邸は、本町筋（現在の駅前通）と北国街道が交差する南西角地にあり、現在の滋賀銀行長浜駅前支店にあたる地点にあった。平成8（1996）年の同支店の店舗新築に伴う調査の結果、城下町開設から下村邸が解体された大正4（1914）年までの期間に四面の遺構面が確認され、最下層の遺構面（城下町開設から天正地震に被災するまで）から土蔵跡や石組溝、井戸等が検出された。

吉川三左衛門邸は、前述の正保四年絵図写では下村邸より南、北国街道の西に面して所在し、現在の市立長浜幼稚園の敷地にあった。平成13

（2001）年の同幼稚園の増築に伴う調査の結果、近世のカマド跡や中世の区画溝等が検出された。

これらの調査において重要な点は、最下層の遺構面から天正地震のものと思われる痕跡が確認されたことである。天正地震は、天正13年11月29日（西暦1586年1月18日）に発生した、国内における内陸型地震としては歴史上確認される最大級の地震で、長浜城下町は壊滅的な被害を受けたといわれている。下村藤右衛門邸跡の遺構面は、地面が波打ち、陥没し、それを覆うように厚い焼土層が堆積しており、長浜城下町が地震直後に火災にあったという記録（ルイス・フロイスによるインド管区長宛書簡）を裏付けている。



長浜町遺跡出土品

今回の指定にかかる遺物は、この焼土層などから出土した大量の土器・陶磁器類の一部である。これらは土蔵などに納められていたらしく、完全な形に復元できたものが多い。半分以上は、当時は貴重であった中国や朝鮮からの輸入陶磁器であり、長浜十人衆の活動や経済力の一端を物語るものである。これらは現在に至る長浜の町を形成する基礎となった初期の長浜にかかわる遺物であり、長浜の歴史を知る上で欠かせないものである。また、絵図等に示される長浜町の空間構造を解明するとともに、当時の社会構造や経済活動を解明する上でも貴重な資料である。

②長浜市指定文化財／神宮寺遺跡出土品

指定年月日 平成25年3月27日

名称・員数 神宮寺遺跡出土品 87点

出土地 滋賀県長浜市平方町字宮の東868 - 1 他15筆

時代 古墳時代～奈良時代

所有者 長浜市

説明

神宮寺遺跡出土品は、古墳時代から奈良時代に展開する神宮寺遺跡から出土した祭祀遺物や土器などの出土品である。

神宮寺遺跡は、長浜市平方町に所在する古墳時代を中心とした遺跡である。発掘調査は、平成4（1992）年5月から10月にかけて民間開発に伴い実施され、調査の結果、川跡、土坑が検出されている。

川跡は、幅27m以上、深さは遺構検出面から80cmで、調査地全体において検出された。川は東から西に蛇行しながら流れて琵琶湖に注いでいたと考えられ、川の中には堰状の施設が設置されていた。

川跡からは、多数の木製品、土師器、須恵器、石器、鉄器、土製品等、様々な遺物が出土した。遺物の年代は、3世紀から8世紀である。この中には祭祀に関連する遺物も数多く含まれ、木製品では、剣形代や刀形代、馬具が出土している。

土製品においては、実用品では無く造りの粗い手捏土器や、精巧なミニチュア土器、土玉、土馬が出土している。石製模造品には、勾玉、有孔円板がある。これらの遺物は、調査地の近辺で、多種多様な祭祀具を用い、様々な祭祀が行われていたことを示すものである。

このほか、祭祀遺物に伴って3世紀から8世紀代の土師器や須恵器の杯身・杯蓋・高杯などの遺物が出土している。これらの遺物は、祭祀遺物の年代を考える上で重要である。

神宮寺遺跡出土の祭祀遺物は、その量と多様さで長浜市域における調査例としては群を抜いており、古代における祭祀を復元する上で重要である。

なお、同一調査で出土した時代を特定するための土器も、合わせて一連の資料として、ともに保存を図る。



神宮寺遺跡出土品1



神宮寺遺跡出土品2

(3) 歴史資料

①長浜市指定文化財／反射望遠鏡 国友一貫斎作（長浜市蔵）

指定年月日 平成 25 年 3 月 27 日

種 別 歴史資料

名称・員数 反射望遠鏡 1 基

附 収納箱（外箱）1 点、収納箱（内箱）1 点、置台（天板付）1 点、
接眼鏡 3 点（ゾングラスを含む）、接眼鏡蓋 1 点、レンズ置き竹筒 1 点、
鏡筒蓋 1 点

法 量 等 高 43.5 cm、鏡筒長 37.7 cm

時 代 江戸時代（天保 7 年・1836 後期）

所 有 者 長浜市（長浜市長浜城歴史博物館保管）

説 明

江戸時代の国友鉄砲鍛冶として知られる国友一貫斎（1778～1840）が、天保 7 年（1836）に製作したグレゴリー式反射望遠鏡である。一貫斎は国友鉄砲鍛冶年寄との訴訟である彦根事件のために、江戸に滞在していた文政 3 年（1820）、尾張国犬山藩主である成瀬正壽宅で、西洋から入った反射望遠を実見した。その時以来、同様の望遠鏡の製作を宿願としていたとみられる。

国友一貫斎は、江戸で日本初の空気銃となる気砲の開発に成功するが、文政 4 年（1821）に故郷である国友村に帰った後、鋼製弩弓・神鏡・懐中筆・玉燈など多くの発明考案品を世に送り出した。その中で、最後に製作したのが反射望遠鏡であった。天保 3 年（1832）から製作を開始し、翌年には 1 号機を完成させ、月や木星などの天体観測を行っている。この望遠鏡は、国産初の反射望遠鏡となった。その後、機器の改良を加え天保 6 年（1835）正月 6 日から翌年 2 月 8 日まで、1 年 2 ヶ月に及ぶ太陽黒点の連続観測も行っている。この黒点の移動と数の変化を記入した観測も、日本人初の快挙であった。

一貫斎の望遠鏡の性能は高く、幕府天文方の足立信頭や、大坂の天文学者として知られる間重新をして、西洋移入の望遠鏡より優れていると言わしめた。また、長浜市指定文化財「国友一貫斎文書」684 点には、この望遠鏡の製作過程を示す記録があり、さらに太陽や月・惑星の観測データを記した天体観測図も残存している事実は、本資料の価値を一層高めている。

国友一貫斎が製作した反射望遠鏡の総数は不明だが、現在判明する範囲では、4 基の残存が知られている。残存望遠鏡の中での 1 号機は、長野県上田市が所蔵するもので、天保 5 年（1834）の銘が入り、平成 24 年に重要文化財に指定された。本機は 2 号機と見られ、3 号機は彦根城博物館が所蔵する彦根藩井伊家伝来のものである。これは、天保 13 年（1842）に彦根藩が 25 両で購入したことが附属文書から知られる。4 号機が、現在も国友一貫斎家に伝来するもので、昭和 39 年に長浜市指定文化財に指定されている。

本資料は、近世日本を代表する科学技術者・国友一貫斎の業績を代表するもので、国産初の反射望遠鏡である



反射望遠鏡（長浜市蔵）

点を、十分評価する必要がある。その価値は、長浜の先人が製作した郷土資料としての存在を超え、近世日本の天文学史上においても重要な位置を占めるものである。また、すでに重要文化財となっている上田市所有の1号機や、長浜市指定文化財となっている4号機と同等の価値があることは言うまでもない。

(4) 無形民俗文化財

①滋賀県選択無形民俗文化財／八日市の太鼓踊 1件（八日市太鼓踊り保存会）

指定年月日 平成25年3月19日

種 別 無形民俗文化財

名称・員数 八日市の太鼓踊 1件

保護団体 八日市太鼓踊り保存会

住 所 長浜市湖北町八日市

説 明

八日市の太鼓踊は、長浜市湖北町八日市で伝承されている太鼓踊である。八日市の太鼓踊は、直径1メートルほどの大太鼓を据え、その周囲を小太鼓と鉦が回りながら踊るのを特徴とする。八日市では太鼓踊のことを「太鼓打ち」と称してきた。

長浜市湖北町八日市は、稲作と養蚕を生業の中心としてきた農村集落である。八日市は、集落の東側を流れる高時川を用水源としており、水不足の度に水争いが繰り返されてきたと伝えられている。

江戸時代から干ばつの際には、八日市、上山田、下山田、二俣の4か村が合同で雨乞を行ったとされ、八日市の太鼓踊はその雨乞の際に踊られたのが始まりとされている。踊りは、八日市の集落内の大町神社や真願寺などで踊られたが、かつて踊りを行う際は、集落内だけでなく付近の水源地の一つである上山田の和泉神社で必ず踊ることになっていたとされている。また、毎年の祭礼行事で踊られてきたものではなく、雨乞や寺社の落慶法要など特別な機会に限って踊られてきた。

現在、踊りは、大太鼓2名、小太鼓10名、鉦2名、笛と音頭約10名から構成される。大太鼓は青年、小太鼓は小学校高学年の男子、鉦、笛、音頭は大人の男性が務める。

小太鼓は、顔を白く化粧し、シャグマと称するやまどりの羽でできた被り物を頭につけ、手には緋ごて、袴、白足袋、草鞋を着用する。背からは五色のたすきを垂らす。胸には締め太鼓を付け、両手に竹のバチを持つ。大太鼓と鉦は、手拭いの鉢巻き、背には五色のたすきを垂らす。笛と音頭は浴衣に鉢巻きである。

滋賀県内には数多くの太鼓踊があり、特に湖北地方の村々では多く踊られていた。八日市の太鼓踊は、長浜市湖北町延勝寺の太鼓踊や長浜市余呉町下余呉の太鼓踊などと類似する太鼓踊とされている。下余呉の太鼓踊は八日市から教わったものだとの伝承もある。今回、選択を行うことで、不定期ながら踊が奉納され、伝承が残っている間に、記録を作成し保存を図ろうとするものである。



八日市の太鼓踊(八日市太鼓踊り保存会)

2 追加指定

(1) 建造物

①大通寺台所門 附 獅子口瓦2個 雨蓋瓦1個

種 別 建造物

名称・員数 大通寺台所門 一棟

三間一戸薬医門 本瓦葺

附 獅子口瓦 二個

元禄元年神無月吉日の刻銘があるもの 一

山城國紀伊郡深草住人の刻銘があるもの 一

附 雨蓋瓦 一個

享保十八年三月十一日の刻銘があるもの

所 有 者 真宗大谷派本願寺別院大通寺

所 在 地 長浜市元浜町

説 明

平成22年10月から24年3月に実施された長浜市文化財保存事業（市指定有形文化財大通寺台所門保存修理）の際に、年号や瓦職人等の刻銘が確認された瓦である。いずれの瓦も損傷が著しく再用法が不可能であったため、長浜城歴史博物館に寄託して保管されている。これらの瓦は、台所門の建築経過を示す資料として重要であることから、附指定として保護する。



台所門獅子口瓦1



台所門獅子口瓦2



台所門雨蓋瓦

②大通寺太鼓楼 附 鬼瓦1個 鐘楼 附棟札2枚

種 別 建造物

名称・員数 大通寺 五棟

庫 裡（一棟）桁行十六・〇メートル、梁間十六・三メートル、切妻造、棧瓦葺、車寄

附属 桁行一間、梁間一間、向唐破風造、檜皮葺

鐘 楼（一棟）桁行一間、梁間一間、入母屋造、檜皮葺

附 棟札 二枚

乙延寶三季卯八月十六日の記があるもの 一

延寶三年卯八月十六日の記があるもの 一

太鼓楼（一棟）桁行八・一メートル、梁間七・一メートル、入母屋造、本瓦葺

附 鬼瓦 一個

瓦屋淵元太郎右衛門良量の刻銘があるもの

新御座（一棟）桁行二二・九メートル、梁間一六・七メートル、正面切妻造、背面入母屋造、棧瓦葺

渡廊（一棟）桁行五間、梁間一間、切妻造、棧瓦葺

所有者 真宗大谷派本願寺別院大通寺

所在地 長浜市元浜町

説明

鐘楼

平成 24 年 8 月から 12 月に実施された長浜市文化財保存事業（市指定有形文化財大通寺鐘楼保存修理）の際に、小屋裏から再発見された棟札である。昭和 39 年に実施された自費修理時に確認されており、中村林一コレクション『大福帳』（長浜城歴史博物館蔵）に記載されている。今回の修理ではこの棟札の収納箱を制作し、小屋裏の束に取り付けて保管した。この棟札は、鐘楼の建築年代等を知ることができる重要な資料であることから、附指定として保護する。



鐘楼棟札

太鼓楼

平成 19 年 6 月から 21 年 6 月に実施された長浜市文化財保存事業（長浜市指定有形文化財大通寺太鼓楼保存修理）の際に、瓦職人と年号の一部の刻銘が再確認された鬼瓦である。損傷が著しく再用が不可能であったため、長浜城歴史博物館に寄託して保管されている。刻銘は、昭和 39 年に実施された自費修理時に確認されており、中村林一コレクション『大福帳』（長浜城歴史博物館蔵）に記載されている。

この鬼瓦は、太鼓楼の建築経過を示す重要な資料であることから、附指定として保護する。



太鼓楼鬼瓦

3 指定種別の変更

①国友一貫斎作望遠鏡 1基 附 付属品 93点（個人蔵）

国友一貫斎の製作関連資料の指定であるが、天体観測を長期にわたり観測するなど歴史的価値が高いことから、種別を工芸品から歴史資料に変更する。

②国友一貫斎作気砲 1挺 附 空気あっさくポンプ（個人蔵）

国友一貫斎の製作関連資料の指定であるが、望遠鏡と同じく歴史的価値が高いことから、種別を工芸品から歴史資料に変更する。

第2節 長浜市文化財保護審議会

長浜市文化財保護審議会は、長浜市文化財保護条例第61条第1項に「第1条の目的の達成のため、法第190条の規定に基づき教育委員会の附属機関として、長浜市文化財保護審議会（以下「審議会」という。）を置く。」とされその所掌事務について同条第2項に「審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査審議し、並びにこれらの事項に関して教育委員会に建議する。」としている。

1 長浜市文化財保護審議会委員名簿

部門(専門)	氏名	備考
民俗(歴史・仏教民俗)	中澤 成晃	元滋賀県文化財保護審議会委員
美術工芸品(古美術全般)	石丸 正運	元彦根城博物館館長
建造物(古建築)	吉見 静子	岐阜女子大学名誉教授
民俗(民俗芸能)	山田 和人	同志社大学教授
書籍(古文書)	宇野 日出生	京都市歴史資料館統括研究員
美術工芸品(宗教美術)	井上 一穂	同志社大学教授
史跡(古代)	増淵 徹	京都橘大学教授

2 未指定文化財指定候補の調査

文化財保護審議会委員により市内に所在する未指定文化財指定候補の調査を行った。

- ・ 史跡、記念物、考古資料調査 11月9日・22日
- ・ 美術工芸品調査 11月14日
- ・ 民俗文化財調査 11月19日・22日
- ・ 建造物調査、歴史資料調査 11月22日

3 第1回文化財保護審議会

○開催日時 平成24年11月22日(木) 午後4時00分～午後5時15分

○開催場所 長浜城歴史博物館研修室

○内容

(1) 文化財保護審議会会長および職務代理者の選出について

会長 中澤 成晃 委員

職務代理者 石丸 正運 委員

(2) 市内未指定文化財指定候補について

(3) 報告

市指定史跡の現状変更について

4 第2回文化財保護審議会

○開催日時 平成25年3月4日(月) 午後1時30分

○開催場所 長浜城歴史博物館研修室

○内容

(1) 長浜市市指定文化財の指定に係る諮問について

長浜市文化財保護条例第 61 条第 2 項により長浜市市指定文化財の指定に係る諮問のあった文化財について、調査審議のうえ教育委員会に建議いただいた。

(2) 報告

①平成 24 年度歴史的風致維持向上計画の進捗状況について

②平成 24 年度史跡小谷城跡保存管理計画の経過報告について

③平成 24 年度管浦文化的景観保存活用事業計画の経過報告について

第 3 節 文化財調査

1 美術工芸品

①木造阿弥陀如来立像（浄信寺蔵）

木造、漆箔、玉眼。像高 83.1、髪際高 76.1、頂一顎 15.0、面長 9.0、面幅 8.9、耳張 11.1、面奥 12.3、胸奥(右)12.9、胸奥(左)12.9、腹奥 14.5、肘張 26.0、袖張 23.3、裾張 19.4、足先開(外)13.7、足先開(内)5.5、台座総高 32.8（単位cm）。

肉髻相を表し、右腕は屈臂し、左腕は垂下して両手とも来迎印を結ぶ阿弥陀如来立像。肉髻珠・旋毛形白毫・玉眼に水晶を嵌入する。肉身部を金泥彩（丹地か）、着衣部を漆箔とする。針葉樹材（ヒノキか）製で、頭体幹部は両足柄まで含んで 1 材から彫出し、前後に割り矧いで内刳を施し、割首とする。木芯は正面左寄りに外す。両肩以下、両足先は別材製。鎌倉時代の作。

左足柄外側に「□□ 法橋行□」の墨書銘がある。大津市歴史博物館・東京文化財研究所の X 線透過撮影調査により像内脚部付近に納入品が確認され、卷子 2 点を取り出された。

②木造千手観音立像（大澤寺蔵）

木造、素地、玉眼。像高 52.1、髪際高 43.9、頂一顎 14.7、面長 6.8、面幅 5.5、耳張 6.8、面奥 7.4、胸奥 8.6、腹奥 7.6（衣含む 8.5）、肘張 13.3、裾張 11.8、足先開 8.0（単位cm）。

垂髻を結び、頂上仏面 1 面、頭上面 9 面を戴き、合掌手・宝鉢手と脇手左右各 18 臂、都合 40 手を表す千手観音立像。素地を表す。ケヤキ材と思われる広葉樹材製で、頭部と体幹部は別材製で差首とし、それぞれ割矧造とする。木芯は後方に外し、内刳する。合掌手、宝鉢手と脇手は別材製。室町時代の作。

③木造薬師如来坐像（黒田薬師堂蔵）

木造、彩色、玉眼。像高 54.0、髪際高 46.7、頂一顎 18.8、面長 11.2、面幅 10.6、耳張 12.2、面奥 13.0、胸奥 14.4、腹奥 16.4、肘張 33.3、膝張 40.0、膝奥 30.0、膝高(右) 8.7、膝高(左) 9.6（単位cm）。

肉髻相を表し、右手与願印、左手に薬壺を載せる薬師如来坐像。肉身部を漆箔、着衣部を胡粉地彩色とする。衲衣と裳に纁縹彩色で宝相華唐草を表す。ヒノキ材製の寄木造。像内背面に造像墨書銘があり、室町時代末期、弘治 2 年（1556）の作とわかる。

④木造不動明王像（大聖寺不動堂蔵）

木造、彩色、彫眼、像高 135.0、髪際高 114.8、頂一顎 46.1（頂蓮含まず 43.5）、面長 25.4、面幅 26.1、耳張 34.6、耳長（右）18.7、耳長（左）18.2、面奥 34.7、腋下幅 48.5、胸奥（右）29.7、胸奥（左）29.6（条帛含む）、腹奥 32.7、肘張 81.8（現状）、膝張 108.4、膝奥 63.2、膝高（右）20.5、膝高（左）20.6、頂蓮の高さ 3.3、頂蓮の前後 11.6、頂蓮の幅 11.8（単位cm）。

頂蓮を戴き、総髪で弁髪を垂らし、瞋目・閉口で、両目を見開き、上歯列で下唇を噛む不動明王坐像。右腕は膝上で剣を握り、左腕は羂索を執る。裳を着け、右脚を外にして結跏趺坐する。白土地彩色で、肉身部は暗青色、条帛は緑青彩、裳は朱彩とし、胸飾・臂釧などにも彩色を施す。

キリ材製で、頭体幹部は堅木 1 材から彫出し、木芯を右耳後ろあたりに籠める。内刳を施し、背板 1 材を矧ぎ寄せる。両肩以下、脚部材、両腰脇三角材は別材製。平安時代後期（11 世紀）の作。



大聖寺不動堂調査

⑤木造阿弥陀如来立像（成就院）

木造、古色・漆箔、彫眼、像高 94.5、髪際高 86.6、頂一顎 17.5、面長 9.9、面幅 10.5、耳張 12.9、面奥 12.8、胸奥 11.2、腹奥 12.7、肘張 28.5、袖張 27.5、裾張 20.4、足先開 14.0、台座高 23.7、台座幅 48.8、台座奥行 20.4（単位cm）。

肉髻相を表し、両手とも来迎印を結ぶ阿弥陀如来立像。現状古色。ヒノキ材製の頭部と体幹部は別材製。頭部は前後に割り矧ぎ、後頭部別材製で差首とする。体幹部は原則として前後に割り矧ぎ、内刳を施し、両肩以下の体側材を寄せる。大きく脚部を根継ぎする。鎌倉時代初期の作。



阿弥陀如来立像(成就院)

第 4 節 文化的景観保存活用事業

長浜市では、長浜市西浅井町菅浦地区の集落景観の、重要文化的景観選定の申出を行うことを目的に文化的景観保存活用事業を実施している。

長浜市西浅井町菅浦地区は、琵琶湖の北端葛籠尾崎半島に位置する。中世より惣村による自治意識が強く、その苦難の歴史を須賀神社所蔵の「菅浦文書」は伝えている。菅浦地区は、村の入り口にある四足門や須賀神社、湖辺の石垣などその景観を変えることなく「菅浦文書」とともにその景観を今に残している。

1 長浜市文化的景観保存活用委員会の開催

平成 23 年度に歴史、歴史地理、民俗、建築、自然等の専門家と地元代表者による委員会を設置した。

平成 24 年度は 2 回の文化的景観保存活用委員会を開催し、菅浦集落の文化的景観について検討を行った。

第 3 回委員会 開催日 平成 24 年 12 月 10 日(日)

第 4 回委員会 開催日 平成 25 年 3 月 10 日(日)

内容：菅浦の重要文化的景観の選定方針、重要な構成要素

2 文化的景観保存活用調査

平成 24 年度に引き続き自然的特性、歴史的特性、生活・生業上の特性などの観点から文化的景観の価値を明らかにする調査を行った。

調査は各分野の専門の委員、地元委員により現地調査、聞き取り調査、集落内にある古文書等の調査を行った。

3 啓発事業

重要文化的景観の選定は地域の方のご理解とご協力が大切であるため、講演会・資料展の開催、先進地研修、リーフレット発行等を実施した。

(1) 文化的景観講演会の開催

シンポジウム「菅浦の文化的景観」

・日 時 平成 25 年 3 月 9 日(土) 午後 3 時～午後 5 時 20 分

・場 所 菅浦自治会館

・基調講演 「文化的景観保存調査報告」

吉村 亨 京都学園大学教授「中世菅浦の文化的景観ー菅浦の「中世」を歩く」

東 幸代 滋賀県立大学准教授「近世からみる菅浦の文化的景観」

・シンポジウム 「菅浦の文化的景観と地域づくり」

パネリスト 金田 章裕 (人間文化研究機構 機構長)

中島 誠一 ((公財) 長浜曳山文化協会事務局長)

南出 眞助 (追手門学院大学教授・学部長)

日向 進 (京都美術工芸大学教授・学部長)

鈴木 地平 (文化庁文化財部記念物課文化的景観部門)

・参加者 100 人

基調講演では、菅浦の文化的景観の調査成果から吉村 亨教授には中世菅浦の文化的景観を、東 幸代准教授には近世からみる菅浦の文化的景観を講演いただいた。

シンポジウムでは、各パネリストがそれぞれの調査から菅浦の文化的景観の特色と保存する意義を説明いただいた。



シンポジウム「菅浦の文化的景観」

(2) 文化的景観啓発資料展の開催

第 3 回「菅浦の思い出写真展」

・期 間 平成 24 年 8 月 24 日～9 月 2 日

・場 所 菅浦郷土史料館

- ・内 容 写真展「菅浦の思い出 今・昔～菅浦のなりわい～」

菅浦の風景「なりわい」テーマに昭和 30 年代～40 年代の写真と現在の写真から、その移り変わりを展示した。

- ・展示パネル 40 点
- ・入館者数 189 人（地域外 137 人）

（３）先進地研修

重要文化的景観に選定された先進地域の現状の視察及び管理・運営を先進的に行っている地域の視察を行った。

①重要文化的景観「高島市針江・霜降の水辺の景観」及び「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」視察

- ・日 時 平成 24 年 10 月 14 日（日）
- ・参加者 菅浦自治会員

重要文化的景観の視察を行い、保存活用事業を積極的に行っている保存団体より重要文化的景観選定、保存活用について説明を受けた。

②世界遺産「相倉合掌造り」視察

- ・日 時 平成 24 年 11 月 11 日（日）
- ・参加者 菅浦自治会員

相倉合掌造りは（財）世界遺産相倉合掌造り集落保存団体が保存活用を先進的に行っており、活動及び財団の運営について財団より説明を受けた。

（４）啓発リーフレットの発行

菅浦の文化的景観について、調査に基づいて啓発リーフレットを作成し、市内の自治会、学校関係及び関係機関に配布した。

- ・文化的景観菅浦…～菅浦の集落景観～重要文化的景観の選定を目指して～
- ・文化的景観菅浦…菅浦の今・昔～なりわい散歩マップ～
- ・文化的景観菅浦…菅浦の思い出～今・昔 散歩マップ～
- ・文化的景観菅浦…湖岸の民がつくり出した景観
- ・文化的景観菅浦…祈りの風景
- ・文化的景観菅浦…変わりゆく景観



（５）啓発パンフレットの発行

- ・地域学習シート…「菅浦を守った人たち」
- 小学生、中学生が理解できる内容で作成した。

（６）菅浦自治会の自主事業

- ・「菅浦の歴史と資料を学ぶ会」開催

菅浦自治会の自主事業として 6 回開催した。（講師 長浜城歴史博物館 太田学芸員）

文化的景観リーフレット

4 今後の予定

平成 25 年度中に「重要文化的景観」の申出を行う予定である。

長浜市文化的景観保存活用委員会

委員長	金田 章裕	(人間文化研究機構 機構長)
委員長代理	中島 誠一	((公財) 長浜曳山文化協会事務局長)
	南出 眞助	(追手門学院大学学部長)
	佐野 静代	(同志社大学准教授)
	日向 進	(京都美術工芸大学学部長)
	深町加津枝	(京都大学大学院准教授)
	吉村 亨	(京都学園大学教授)
	東 幸代	(滋賀県立大学准教授)
	前畑 政善	(神戸学院大学教授)
	島田 均	(菅浦自治会会長)
	中嶋 達也	(菅浦自治会副会長)
	須原 伸久	(菅浦自治会役員)
	高橋 郁夫	(菅浦自治会役員)
	藤井 進	(菅浦自治会役員)
	加藤 誠	(菅浦漁業代表)
	浅野 正司	(菅浦農業組合代表)
	西川 喜善	(菅浦郷土史料館評議員)
	前田 清	(菅浦郷土史料館評議員)

第 5 節 史跡小谷城跡保存管理計画

史跡小谷城跡は戦国大名浅井氏が築いた城郭である。大永年間に初代城主浅井亮政によって築かれ、三代城主浅井長政が織田信長に滅ぼされるまでの約 50 年間北近江の中心となった城である。

昭和 12 年 4 月 17 日に山城部分が史跡に指定され、平成 7 年 2 月 4 日には浅井氏一族と家臣団の屋敷群や寺院のあった清水谷地区が追加指定された。

- ・ 史 跡 の 名 称 史跡小谷城跡
- ・ 指定年月日 昭和 12 年 4 月 17 日
平成 7 年 2 月 4 日 (追加指定)
- ・ 所 在 地 滋賀県長浜市湖北町大字伊部、小谷郡上町、尊勝寺町他
- ・ 史跡指定面積 1, 477, 388 m²



史跡 小谷城跡

1 保存管理計画

平成 24～25 年度の 2 ヶ年で史跡小谷城跡保存管理計画を作成し平成 25 年度末に策定を行う。

平成 24 年度は、歴史学、考古学、歴史地理学、建築学、史跡整備、植物学、民俗学、地元関係者、

保存団体代表からなる小谷城跡保存管理計画策定委員会を設置し検討を行った。保存管理計画の策定に係る地域特性、史跡特性の把握の調査を実施し委員会で保存管理方針の検討をおこなった。

2 史跡小谷城跡保存管理計画策定委員会

史跡小谷城跡保存管理計画策定委員会を開催し、管理計画について検討を行った。

第1回委員会

- ・開催日 平成24年12月24日(日)
- ・場所 長浜城歴史博物館研修室
- ・内容 ○委員会、事業の趣旨、計画説明他
○史跡小谷城跡の現況を視察

第2回委員会

- ・開催日 平成25年3月18日(月)
- ・場所 長浜城歴史博物館研修室
- ・内容 保存管理計画について

3 今後の予定

平成25年度に保存管理基本方針の設定、保存管理計画の検討、小谷城跡の将来像・整備活用基本構想の検討、保存管理及び活用体制の検討、保存管理計画の策定を行い、報告書を作成する。

史跡小谷城跡管理計画策定委員会委員

委員長	水野 和雄	(元福井県立一乗谷朝倉市遺跡資料館館長)
委員長代理	増渕 徹	(京都橘大学教授)
	高瀬 要一	(元奈良文化財研究所文化遺産部長)
	山村 亜希	(愛知県立大学准教授)
	吉岡 泰英	(福井県立一乗谷朝倉市遺跡資料館館長)
	深町加津枝	(京都大学大学院准教授)
	中澤 成晃	(長浜市文化財保護審議会会長)
	中山 孫孝	(小谷城址保勝会副会長)
	木村 武一	(小谷地域づくり協議会会長)

第6節 指定文化財等保存修理

1 建造物

(1) 重要文化財 辻家住宅主屋保存修理

辻家住宅主屋(昭和43年4月27日指定・西浅井町祝山に所在)は、入母屋造、ヨシ葺、桁行21.4m、梁間10.5mで西を正面とし、西面及び東面に棧瓦の庇を設ける。建築年代は所蔵記録から文政



辻家住宅主屋 屋根修理 ヨシ葺施工

8年（1825）に現在地へ移築建造されている。

主屋のヨシ葺屋根は、昭和46年に全面葺き替え修理、平成6年に差し葺き修理が行われていたが、屋根全面のヨシの腐朽・損傷が進み、さらにヨシの押さえ竹が露出寸前の状態で、葺き替えの時期に達していた。また底の棧瓦も凍結により破損しているものがあった。これ以外にも座敷廻りの柱の不陸、式台廻りの柱等の腐朽がみられた。このことから国庫補助事業によってこれらの修理を行った。



辻家住宅主屋 屋根修理 完成全景

なお事業期間中、県主催による地域の小学生と市民を対象とした現場見学会が開催された。

（2）市指定有形文化財 大通寺鐘楼保存修理

大通寺鐘楼（平成6年4月1日指定）は、境内南面東端に位置する桁行1間、梁間1間の入母屋造、檜皮葺の建物で、棟札から延宝3年（1675）に建築されている。建物は前回の屋根葺き替え（昭和39年）から50年余り経過し、屋根全面の檜皮が摩耗して部分的に鉄板を差し込んでようやく雨漏りをしのいでいる状況であった。このことから、市補助事業によって、屋根全面の檜皮の葺き替えと屋根下地の修理を実施した。



大通寺鐘楼 屋根修理 桧皮葺施工

なお事業期間中、市主催による市民を対象とした現場見学会を実施した。

2 民俗文化財

滋賀県文化財保存事業3件、長浜市文化財保存事業2件の計5件に対して補助を行った。

（1）県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／孔雀山山蔵修理

平成22～24年度の3か年で山蔵壁面の漆喰壁の塗り替え修理を実施した。修理は専門業者に委託して実施し、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導を受けながら進めた。

今年度の修理は、北面壁面の漆喰塗り替えと腰板の張り延ばしを行った。

（2）県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／月宮殿山車修理

山車の車輪鉄輪について溶接技法により締め直しを行った。修理は専門業者に委託して実施し、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導を受けながら進めた。

（3）県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／常磐山山車修理

山車の車輪鉄輪について焼嵌技法により締め直しを行った。修理は専門業者に委託して実施し、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導を受けながら進めた。

（4）県指定有形民俗文化財／長浜曳山祭の山車 附山蔵／青海山山車修理

山車の車輪鉄輪（前輪のみ）について焼嵌技法により締め直しを行った。修理は専門業者に委託して

実施し、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会の指導を受けながら進めた。

(5) 県指定選択民俗文化財／富田人形保存修理

富田人形の首手足 11 組について、汚れ除去、欠損・剥落の補修、引き糸の交換、彩色のし直しを行った。あわせて富田人形「日高川船頭」衣裳 1 領について、損傷が甚だしいため新調した。修理および新調は専門業者に委託して実施した。

3 美術工芸品

(1) 市指定有形文化財 金地墨画梅の図襖保存修理

金地墨画梅の図襖 12 面（昭和 37 年 9 月 7 日指定）は、大通寺新御座（市指定有形文化財）の下段の間と鞘の間を間仕切る襖で、金地に一幹の老梅が墨で描かれている。「天明丙午仲秋岸雅楽助平駒写」と隷書の落款があり、天明 6 年（1786）岸駒によって制作されている。

この襖 12 面の本紙部分には、経年劣化による亀裂が生じていて、このまま放置できない状態となっていた。このことから 3 ケ年度（平成 22～24 年度）の計画で、本紙ならびに下貼りの修理に着手した。今年度は向かって左の 4 面（1 面の幅 911 mm×高さ 1745 mm）の修理を行った。



金地墨画梅の図襖 完成全景

4 名勝・史跡

(1) 国指定名勝史跡 竹生島都久夫須麻神社拝殿保存修理

事業名称	記念物保存修理
文化財の名称	名勝史跡 竹生島 (指定年月日 昭和 5 年 7 月 8 日)
所在地	滋賀県長浜市早崎町字竹生島 竹生島全島及び諸島周囲の水面 60 間
管理団体	滋賀県 (指定年月日 昭和 5 年 12 月 1 日)
事業の目的及び内容	名勝史跡内の歴史的建造物 都久夫須麻神社拝殿の保存修理
事業期間	23～25 年度 3 ケ年(予定)
修理内容	平成 23 年度 建造物調査・実施設計・地形測量 平成 24 年度 修理・基礎周辺の発掘調査 平成 25 年度 修理・整理調査



竹生島 都久夫須麻神社拝殿遠景



都久夫須麻神社拝殿基礎調査

事業内容

平成 24 年度は、修理箇所とそれに関連する部分を解体した。解体材は部材毎に破損・汚損の生じないように養生した。

基礎工事は、拝殿の建つ地盤は一部軟弱な部分があるので、無収縮グラウト工法で地盤改良を行った。その上に礎石の一部を補足し据え付け、周囲の地盤との段差を叩き土などで修正した。

発掘調査は、基礎周辺の遺構調査を実施した。



都久夫須麻神社拝殿解体状況

第 7 節 指定文化財管理事業

1 国指定

(1) 大通寺

重要文化財の大通寺本堂・広間（附玄関）・含山軒及び蘭亭を中心とする建造物に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備）の保守点検を行った。

(2) 都久夫須麻神社

国宝の都久夫須麻神社本殿を中心とする建造物に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

(3) 宝厳寺

国宝の唐門、重要文化財の観音堂と廊下に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

(4) 五村別院

重要文化財の本堂、表門等に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備）の保守点検を行った。

(5) 西徳寺

重要文化財の本堂に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

(6) 辻家住宅

重要文化財の主屋、表門に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

(7) 日吉神社（唐川）

重要文化財の木造千手観音立像、木造菩薩立像が安置されている観音堂に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備）の保守点検を行った。

2 県指定

(1) 総持寺

県指定有形文化財の大門に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

(2) 池氏庭園

県指定名勝の池氏庭園の除草、清掃、剪定、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

(3) 日吉神社（井口）

県指定有形文化財の本殿に設置されている防災設備（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備）の保守点検を行った。

(4) 全長寺

県指定有形文化財の本堂等に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

(5) 上丹生薬師堂

県指定有形文化財の薬師堂に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

(6) 塩津神社

県指定有形文化財の本殿等に設置されている防災設備（自動火災報知設備）の保守点検を行った。

3 市指定

(1) 大通寺学問所庭園

市指定名勝の大通寺学問所庭園の除草、清掃、剪定、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

(2) 東野山城跡

市指定史跡の東野山城跡の除草、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

(3) 別所山砦跡

市指定史跡の別所山砦跡の除草、刈り込み等を行い、荒廃防止に努めた。

第8節 史跡の現状変更申請

長浜市管内には、名勝・史跡竹生島をはじめとして、史跡小谷城や史跡古保利古墳群など、数多くの史跡・名勝が所在する。

文化財保護センターでは、保存のための適正な管理を行っており、史跡・名勝については、文化財保護法第184条により「第125条の規定による現状変更又は保存に影響を及ぼす行為の許可及びその取消

し並びにその停止命令（重大な現状変更又は保存に重大な影響を及ぼす行為の許可の許可及びその取消しを除く）」に係る事務処理を行っている。

滋賀県指定史跡名勝については、滋賀県文化財保護条例及び滋賀県教育委員会の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき処理を行っている。

長浜市指定の史跡及び名勝については長浜市文化財保護条例により適正に処理を行っており、平成 24 年度の状況については以下のとおりである。

現状変更許可状況

指定区分	種別	名称	変更内容	許可機関	許可年月日	文書番号
国指定	史跡	小谷城跡	保全松林緊急保護整備衛生伐	長浜市教育委員会	平成 24 年 11 月 2 日	長教文保指令第 11 号
			簡易四阿とストックハウス設置	長浜市教育委員会	平成 24 年 4 月 1 日	長教文保指令第 3 号
国指定	史跡	古保利古墳群	獣害防護柵設置	長浜市教育委員会	平成 24 年 10 月 26 日	長教文保指令第 8 号
国指定	名勝史跡	竹生島	復旧治山工事	文化庁	平成 24 年 12 月 14 日	24 受庁財第 4 号の 1713
			神社手水舎修理	文化庁	平成 25 年 1 月 18 日	24 受庁財第 4 号の 1887
			神社拝殿修理	文化庁	平成 24 年 6 月 15 日	24 受庁財第 4 号の 196
			土質調査	文化庁	平成 24 年 7 月 6 日	24 受庁財第 4 号の 691
			カワウ対策工事	長浜市教育委員会	平成 24 年 10 月 1 日	長教文保指令第 6 号
			保存修理に伴う素屋根等設置	長浜市教育委員会	平成 24 年 5 月 23 日	長教文保指令第 4 号
国指定	名勝	慶雲館庭園	広場整備	文化庁	平成 24 年 9 月 21 日	24 受庁財第 4 号の 1103
県指定	史跡	西野水道	獣害防護柵設置	長浜市教育委員会	平成 24 年 10 月 26 日	長教文保指令第 9 号

第 9 節 指定文化財保存伝承事業

(1) 国指定重要無形民俗文化財／長浜曳山祭行事保存伝承(保護団体:公益財団法人長浜曳山文化協会)

① 曳山祭の現地公開

今年度の出番と外題は以下のとおりであった。

- 一番山 高砂山 「源平涙組討」
- 二番山 猩々丸 「尽忠恩愛断」
- 三番山 壽 山 「嘆不添情柵」
- 四番山 鳳凰山 「山咲紅白綾」

② 伝承者養成

専門講師を招いて年間 75 回、曳山博物館のワークルーム等を使用して、太夫・三味線奏者の養成講座「三役修業塾」を実施した。このほか、塾生による発表会を年間 1 回開催した。三役修業塾生や歌舞伎化粧教室受講生が体験学習やイベントの講師を務めた。

また、以下の祭礼について塾生を派遣・出演した。

- ・長浜曳山祭鳳凰山 1 名、同猩々丸 1 名、垂井曳山祭紫雲閣 2 名、同攀鱗閣 2 名、米原曳山祭松翁山 2 名

③ 保存促進

山車が格納されている山蔵および曳山博物館収蔵庫の保存環境（温湿度）調査を行い、東京文化財研究所により分析を行った。また、曳山祭行事・曳山保存専門委員会および修理調査を実施し、次年度以降の山車や懸装品等の修理方針・仕様についての検討を行った。曳山博物館子ども歌舞伎教室を開講し、

女子を含む小学生が歌舞伎を学習して発表会を行った。文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業で制作した記録映像を活用し、フォーラムを2回開催した。

(2) 滋賀県選択無形民俗文化財／富田人形保存伝承（保護団体：富田人形共遊団）

専門講師を招いて年間14回、富田人形会館を使用して、人形操作、三味線の技芸の習得ならびに向上に努めた。

(3) 滋賀県選択無形民俗文化財／下余呉の太鼓踊り保存伝承（保護団体：下余呉子供会）

太鼓踊りを奉納・伝承するために、太鼓踊りの衣裳・道具類の整備と、踊りの稽古等を実施した。また、平成24年8月19日に太鼓踊りの公開事業を実施した。

第10節 長浜曳山文化保存事業委託

概 要

- ・長浜曳山祭において受け継がれてきた曳山文化の継承と発展、さらに合併後の全市への普及を目的として、公益財団法人長浜曳山文化協会に委託して、曳山祭の保存事業を実施した。

1 平成24年度 長浜曳山文化保存事業

- ・平成24年度は、長浜市曳山博物館において3回の特別展を開催した。
- ・特別展開催にあわせて、講師を招聘して講演会を開催した。
- ・特別展を中心とした図録を刊行した。
- ・特別展内容

曳山文化の華である子ども歌舞伎の世界から戦国大河ながはま館のテーマである、戦国時代や源平時代を登場人物を中心に紹介し、その歴史とは別の一面や地域に伝わる伝承なども紹介した。

第1回：「源平合戦と近江―^{げんぺいぬのびきのたき}源平布引滝―」

会期：平成24年4月23日～5月27日

会期中入館者数：5,222人

【記念講演会】

日程：平成24年5月19日

内容：伊藤りさ氏（早稲田大学演劇博物館招聘研究員）

演題：「源平布引滝 実盛の生き方」

聴講者：55人

第2回：「もう一つの平家物語―^{いちのたにふたばぐんき}谷嫩軍記―」

会期：平成24年7月21日～9月2日

会期中入館者数：4,831人

【記念講演会（演奏会）】

日程：平成24年8月18日

講師：片山旭星氏（琵琶奏者）、土居郁夫氏（芸能研究家）

演題：「平家琵琶の夕べ」

聴講者：90 人

第 3 回：「演じられた戦国—絵本太功記—」

会期：平成 24 年 9 月 29 日～11 月 4 日

会期中入館者数：4,699 人

【記念講演会】

日程：平成 24 年 10 月 13 日

講師：中村博司氏（元大阪城天守閣館長）

演題：「太閤記のさまざま」

聴講者：30 人

第 11 節 特別天然記念物・天然記念物

特別天然記念物・天然記念物の保護を行っている。

長浜市では、特別天然記念物ニホンカモシカ、同オオサンショウウオ、天然記念物オオヒシクイの生息が確認されている。

・特別天然記念物ニホンカモシカ

長浜市北部及び東部の山林に生息する。特に北部の山林で多確認されている。

衰弱等により毎年数頭の死亡が確認され、文化財保護法に基づいて処理を行っている。平成 24 年度は、死亡による毀損は 2 件であった。

・特別天然記念物オオサンショウウオ

北部の河川で生息が報告されている。

平成 24 年度は生息調査のための現状変更が 1 件、死亡による毀損が 1 件あった。

・天然記念物オオヒシクイ

びわ湖岸で確認されている。



特別天然記念物 ニホンカモシカ

第 12 節 長浜市内所在指定文化財数表

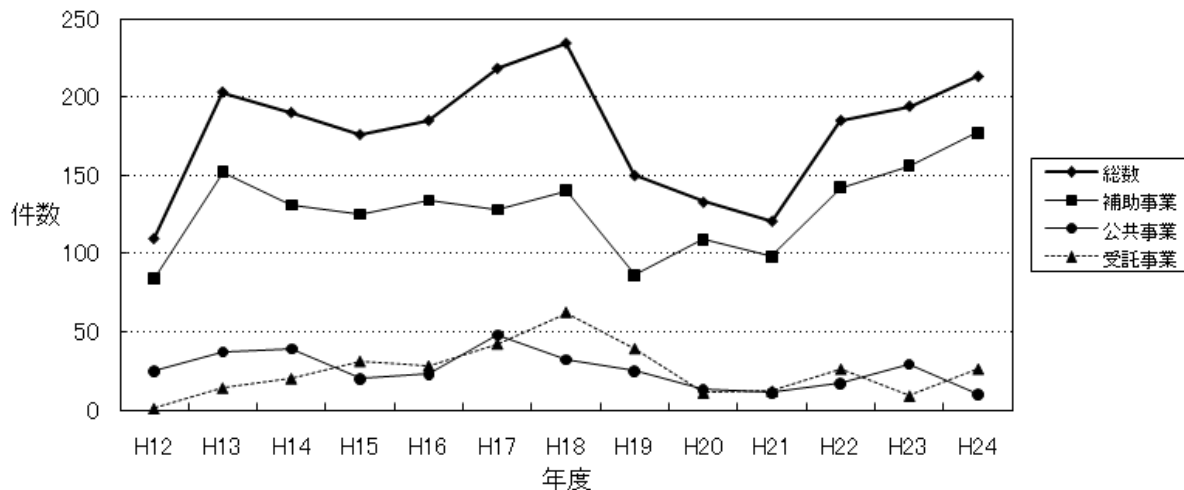
平成 25 年 4 月 1 日現在

指定区分 指定種別		国指定			県指定	市指定	計
		国宝(特別)	重文	登録			
有形文化財	建造物	2(2)	11(15)	14(14)	8(8)	16(20)	51(59)
	絵画	－	8(23)	－	5(5)	28(37)	41(65)
	彫刻	1(1)	45(56)	－	16(35)	59(92)	121(184)
	工芸品	1(16)	14(37)	－	11(31)	26(27)	52(111)
	書籍	1(1)	4(444)	－	14(1695)	45(8696)	64(10836)
	考古資料	－	1(1)	－	－	8(218)	9(219)
	歴史資料	－	1(86)	－	－	13(178)	14(264)
	(小計)	5 (20)	84 (662)	14 (14)	54 (1774)	195 (9268)	352 (11738)
無形文化財	指定	－	－	－	－	－	－
	選択	－	－	－	－	－	－
	(小計)	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
民俗文化財	有形	－	－	－	1(13)	12(2055)	13(2068)
	無形	－	1(1)	－	2(2)	7(7)	10(10)
	選択	－	1(1)	－	11(11)	－	12(12)
	(小計)	－ －	2 (2)	－ －	14 (26)	19 (2062)	35 (2090)
記念物	史跡	－	4(135)	－	11(12)	17(100)	32(247)
	名勝	－	3(4)	－	4(4)	5(5)	12(13)
	史跡名勝	－	1(1)	－	－	－	1(1)
	天然記念物	－	－	－	1(1)	10(11)	11(12)
	(小計)	－ －	8 (140)	－ －	16 (17)	32 (116)	56 (273)
選定保存技術		－	1(1)	－	1(1)	－	2(2)
(小計)		－ －	1 (1)	－ －	1 (1)	－ －	2 (2)
合計		5 (20)	95 (805)	14 (14)	85 (1818)	246 (11446)	445 (14103)
※枠内の数字は件数である。()内は点数である。							

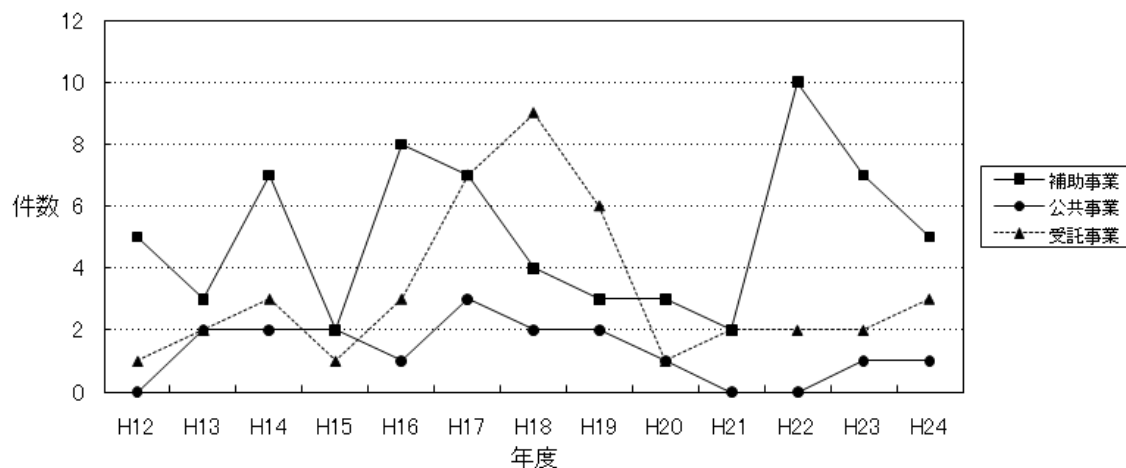
第2章 埋蔵文化財関連事業

第1節 長浜市の埋蔵文化財事業件数の推移

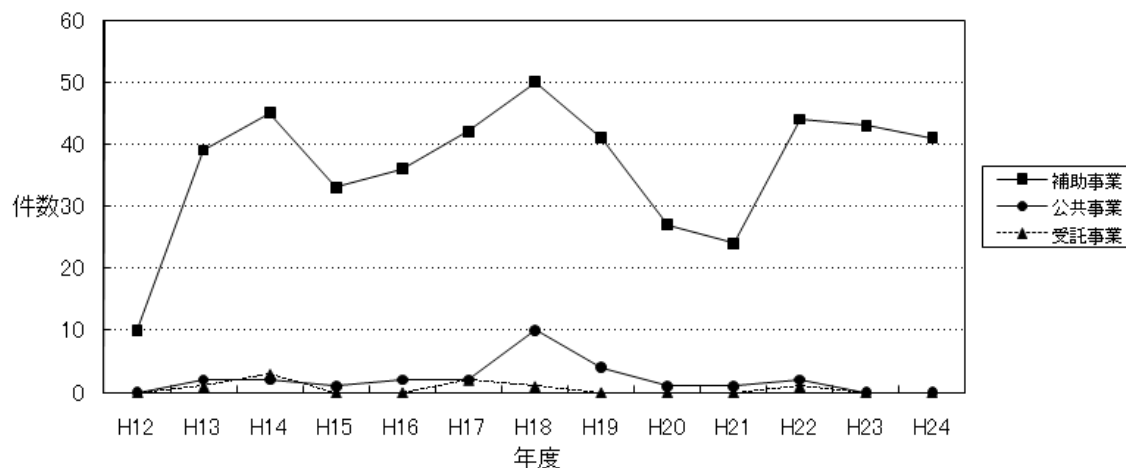
事業別発掘調査届出件数の推移



事業別本発掘調査件数



事業別試掘調査件数



第2節 埋蔵文化財調査事業一覧

1 平成24年度試掘・本発掘調査地一覧

1	雨森遺跡第9次調査	16	常住庵遺跡第7次調査	31	長浜城遺跡第242次調査
2	宇根遺跡第4次調査	17	神照寺坊遺跡第66次調査	32	長浜町遺跡第132次調査
3	円明寺遺跡第21次調査	18	神照寺坊遺跡第68次調査	33	長浜町遺跡第133次調査
4	大辰巳遺跡第33次調査	19	神照寺坊遺跡第69次調査	34	長浜町遺跡第136次調査
5	大辰巳遺跡第40次調査	20	神照寺坊遺跡第70次調査	35	長浜町遺跡第137次調査
6	大音遺跡第3次調査	21	須賀谷館遺跡第2次調査	36	長浜町遺跡第142次調査
7	加納遺跡第30次調査	22	相撲宗玄城遺跡第2次調査	37	野瀬遺跡第44次調査
8	加納遺跡第31次調査	23	大円寺遺跡第8次調査	38	福満寺遺跡59次調査
9	川崎遺跡第90次調査	24	大円寺遺跡第9次調査	39	室遺跡第72次調査
10	川崎遺跡第91次調査	25	高田氏館遺跡第7次調査	40	室町城居立城遺跡第2次調査
11	川崎遺跡第96次調査	26	高月南遺跡第40次調査	41	物部遺跡第22次調査
12	口分田北遺跡第11次調査	27	高月南遺跡第41次調査	42	柳野遺跡第8次調査
13	口分田北遺跡第12次調査	28	高畑遺跡第11次調査	43	山本氏館遺跡第1次調査
14	地福寺遺跡第52次調査	29	徳蔵坊遺跡第6次調査	44	横山遺跡第9次調査
15	下坂中町遺跡第10次調査	30	長浜城遺跡第239次調査	45	横山城遺跡第8次調査

平成 24 年度試掘・本発掘調査位置図1



平成 24 年度試掘・本発掘調査位置図2



2 補助事業（173 件）

本発掘調査 5 件、試掘調査 42 件、工事立会 10 件、慎重工事 120 件

No.	遺跡名	回数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
1	雨森	8	高月町雨森	***	249	***	個人住宅新築	慎重工事
2	雨森	9	高月町雨森	10/19	714.69	4	個人住宅新築	試掘調査
3	泉町西	16	泉町	***	182.08	***	個人住宅新築	慎重工事
4	井口	13	高月町井口	***	261.97	***	住宅用物置新築	慎重工事
5	井口	14	高月町井口	***	735.07	***	個人住宅新築	慎重工事
6	内保	50	内保町	***	781.96	***	個人住宅新築	慎重工事
7	内保	51	内保町	***	227.64	***	個人住宅新築	慎重工事
8	宇根	4	高月町宇根	4/19 4/20～5/17	447.22	2.3 33.9	個人住宅新築	試掘調査 本掘調査
9	永久寺	11	永久寺町	***	123.24	***	個人住宅新築	慎重工事
10	永久寺	12	永久寺町	***	675.01	***	プレハブ車庫	慎重工事
11	円明寺	17	室町	***	390.21	***	個人住宅新築	慎重工事
12	円明寺	18	室町	***	179.32	***	個人住宅新築	慎重工事
13	円明寺	19	室町	***	403.22	***	個人住宅新築	慎重工事
14	円明寺	20	室町	***	181.87	***	個人住宅新築	慎重工事
15	円明寺	21	室町	2/27	358.09	10.5	個人住宅新築	試掘調査
16	大戌亥	79	大戌亥町	***	356.44	***	個人住宅新築	慎重工事
17	大戌亥	80	勝町	***	329	***	駐車場造成	慎重工事
18	大戌亥	82	大戌亥町	***	378	***	宅地造成	慎重工事
19	大角	5	田川町	***	507.3	***	個人住宅新築	慎重工事
20	大角	6	田川町	***	91.02	***	車庫新築	慎重工事
21	大辰巳	33	大辰巳町	7/11～7/19	992	40	宅地造成	試掘調査
22	大辰巳	34	大辰巳町	***	197.53	***	個人住宅新築	慎重工事
23	大辰巳	35	大辰巳町	***	178.98	***	個人住宅新築	慎重工事
24	大辰巳	36	大辰巳町	***	170.03	***	個人住宅新築	慎重工事
25	大辰巳	37	大辰巳町	***	179.92	***	個人住宅新築	慎重工事
26	大辰巳	38	大辰巳町	***	170.04	***	個人住宅新築	慎重工事
27	大辰巳	39	大辰巳町	***	390.55	***	個人住宅新築	慎重工事
28	大辰巳	40	大辰巳町	3/6 3/14	351.22	4 46	個人住宅新築	試掘調査 本掘調査
29	大辰巳	41	大辰巳町	***	197.51	***	個人住宅新築	慎重工事
30	大音	3	木之本町大音	4/27	800.24	2	個人住宅新築	試掘調査
31	大音	4	木之本町大音	6/26	200	***	擁壁	工事立会
32	大音	6	木之本町大音	***	498.49	***	個人住宅新築	慎重工事
33	加納	30	加納町	7/23	472.78	4	個人住宅新築	試掘調査
34	加納	31	加納町	3/12	298.12	6	個人住宅新築	試掘調査
35	上寺地	17	垣籠町	***	991.5	***	離れ新築	慎重工事
36	鴨田	27	大辰巳町	10/10	883	***	墓地外周擁壁	工事立会
37	唐川城	6	高月町唐川	***	347.8	***	離れ新築	慎重工事
38	川崎	90	八幡中山町	5/23	198.53	4	個人住宅新築	試掘調査
39	川崎	91	八幡中山町	5/25	181.81	7.7	個人住宅新築	試掘調査
40	川崎	92	八幡中山町	***	116.49	***	個人住宅新築	慎重工事
41	川崎	93	八幡中山町	***	170.19	***	個人住宅新築	慎重工事
42	川崎	94	口分田町	***	2193.23	***	店舗新築	慎重工事
43	川崎	95	八幡中山町	***	1331	***	店舗新築	慎重工事
44	川崎	96	八幡中山町	8/29	2008	52	宅地造成	試掘調査
45	川崎	97	八幡中山町	***	186.51	***	個人住宅新築	慎重工事
46	川崎	98	八幡中山町	***	181.84	***	分譲宅地	慎重工事
47	川崎	100	八幡中山町	***	504	***	分譲住宅 3 棟新築	慎重工事
48	川崎	101	八幡中山町	***	986	***	社宅新築	慎重工事
49	国友町	46	国友町	***	228.39	***	個人住宅新築	慎重工事
50	口分田北	11	口分田町	5/16	2,185	4	駐車場、資材置場造成	試掘調査
51	口分田北	12	口分田町	5/16	737	4	倉庫建築	試掘調査

No.	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
52	黒田	16	木之本町黒田	***	100.38	***	個人住宅新築	慎重工事
53	黒田	17	木之本町黒田	***	217.01	***	個人住宅新築	慎重工事
54	黒田	18	木之本町黒田	***	247.59	***	個人住宅新築	慎重工事
55	黒田	20	木之本町黒田	***	400.36	***	個人住宅新築	慎重工事
56	黒田	21	木之本町黒田	***	770	***	住宅用物置・ガレージ新築	慎重工事
57	黒田	22	木之本町黒田	***	245.81	***	個人住宅新築	慎重工事
58	黒田	23	木之本町黒田	***	216.34	***	個人住宅新築	慎重工事
59	黒田	24	木之本町黒田	***	1282	***	集合住宅新築	慎重工事
60	小沢城	12	小沢町	***	245.89	***	個人住宅増築	慎重工事
61	小沢城	13	小沢町	***	293	***	太陽光発電パネル設置	慎重工事
62	越前塚	37	加納町	***	73.27	***	個人住宅新築	慎重工事
63	小林氏館	1	泉町	***	299.98	***	個人住宅新築	慎重工事
64	五村	11	五村	***	320	***	駐車場	慎重工事
65	里ノ内	1	高月町西阿閉	7/12	327.64	***	住宅用物置新築	工事立会
66	里ノ内	2	高月町西阿閉	***	562.96	***	離れ新築	慎重工事
67	地福寺	52	地福寺町	9/14	188.42	4	倉庫建築	試掘調査
68	地福寺	53	地福寺町	***	268.5	***	個人住宅新築	慎重工事
69	地福寺	54	地福寺町	***	198.45	***	個人住宅新築	慎重工事
70	地福寺	55	地福寺町	***	191.88	***	個人住宅新築	慎重工事
71	地福寺	56	地福寺町	***	268.54	***	個人住宅新築	慎重工事
72	下坂中町	9	大戌亥町	2/5	7910.77	***	社会福祉施設の増築	工事立会
73	下坂中町	10	下坂中町	2/6	2512.97	8	宅地造成	試掘調査
74	十里町	36	十里町	***	177.08	***	個人住宅新築	慎重工事
75	十里町	37	十里町	***	192.55	***	個人住宅新築	慎重工事
76	十里町	38	十里町	***	180.99	***	個人住宅新築	慎重工事
77	十里町	39	十里町	***	174.61	***	個人住宅新築	慎重工事
78	十里町	40	十里町	***	189.78	***	個人住宅新築	慎重工事
79	十里町	41	十里町	***	182.75	***	個人住宅新築	慎重工事
80	十里町	42	十里町	***	174.58	***	個人住宅新築	慎重工事
81	十里町	43	十里町	***	182.64	***	個人住宅新築	慎重工事
82	十里町	44	十里町	***	187.94	***	個人住宅新築	慎重工事
83	十里町	45	十里町	***	537.68	***	個人住宅新築	慎重工事
84	十里町	46	十里町	***	188.26	***	個人住宅新築	慎重工事
85	十里町	47	十里町	***	117.58	***	個人住宅新築	慎重工事
86	十里町城	9	十里町	***	198.23	***	個人住宅新築	慎重工事
87	十里町城	10	十里町	***	250.47	***	個人住宅改築	慎重工事
88	十里町城	11	十里町	***	144.98	***	個人住宅新築	慎重工事
89	十里町城	12	十里町	***	272	***	個人住宅新築	慎重工事
90	常住庵	7	高月町磯野	5/1	180.59	6	個人住宅新築	試掘調査
91	神照寺坊	66	新庄寺町	4/24～4/25	615.23	31.2	宅地造成	試掘調査
92	神照寺坊	67	新庄寺町	9/26	371.9	***	個人住宅新築	工事立会
93	神照寺坊	68	新庄寺町	10/23～10/31	268.21	44	個人住宅新築	本掘調査
94	神照寺坊	69	新庄寺町	10/24～10/26	4751	66	宅地造成	試掘調査
95	神照寺坊	70	新庄寺町	2/7	170.36	6	個人住宅新築	試掘調査
96	神照寺坊	71	新庄寺町	***	202.18	***	個人住宅新築	慎重工事
97	神照寺坊	73	新庄寺町	***	330.76	***	個人住宅新築	慎重工事
98	須賀谷館	2	須賀谷町	12/7	661	2	携帯電話基地局建設	試掘調査
99	相撲宗玄城	2	相撲町	7/18	86.68	4	個人住宅新築	試掘調査
100	尊野城	7	尊野町	***	219.17	***	個人住宅新築	慎重工事
101	大門寺	8	高月町落川	4/26	92.4	6	携帯電話基地局建設	試掘調査
102	大門寺	9	高月町高月	11/16	510	1.9	防火水槽設置	試掘調査
103	田居前館	2	木之本町大音	***	82.1	***	個人用車庫新築	慎重工事
104	多賀左近館	1	野村町	***	747.42	***	住宅用物入新築	慎重工事
105	高田氏館	7	南高田町	2/13	382.45	5	個人住宅新築	試掘調査
106	高月南	39	高月町高月	9/26	357.7	***	個人住宅新築	工事立会
107	高月南	40	高月町宇根	6/29～8/1	205.81	60	個人住宅新築	本掘調査

No.	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
108	高月南	41	高月町宇根	7/3～8/23	204.69	75	個人住宅新築	本掘調査
109	高月南	42	高月町宇根	***	203.36	***	個人住宅	慎重工事
110	高月南	43	高月町宇根	***	212.15	***	個人住宅新築	慎重工事
111	高月南	44	高月町宇根	9/26	210.61	***	個人住宅新築	工事立会
112	高月南	45	高月町宇根	9/25	211.65	***	個人住宅新築	工事立会
113	高月南	46	高月町宇根	***	232.07	***	個人住宅新築	慎重工事
114	高月南	48	高月町宇根	***	205.48	***	個人住宅新築	慎重工事
115	高橋	48	大戊亥町	***	236.8	***	住宅用物置新築	慎重工事
116	高橋	49	大戊亥町	***	95.9	***	個人住宅新築	慎重工事
117	高橋	50	大戊亥町	***	168.92	***	個人住宅新築	慎重工事
118	高橋	51	大戊亥町	***	303.76	***	建売住宅建築	慎重工事
119	高畑	10	高畑町	***	280.31	***	個人住宅新築	慎重工事
120	高畑	11	高畑町	11/13	615.86	6	消防団拠点施設整備	試掘調査
121	当日館	6	当日町	***	1012.97	***	車庫新築	慎重工事
122	当日館	7	当日町	***	125.96	***	車庫新築	慎重工事
123	徳蔵坊	6	一の宮町	2/15	5007.04	4	ガスコージェネレーション新設	試掘調査
124	鳥居立	4	山階町	***		***	携帯電話基地局変更	慎重工事
125	長浜城	236	公園町	***	194.63	***	個人住宅新築	慎重工事
126	長浜城	239	北船町	8/2～8/3	4764.13	45.75	店舗新築	試掘調査
127	長浜城	240	鐘紡町	***	340.59	***	個人住宅新築	慎重工事
128	長浜城	241	公園町	***	123.73	***	個人住宅新築	慎重工事
129	長浜城	242	殿町	1/11	185.18	4	個人住宅新築	試掘調査
130	長浜城	243	殿町	***	168.09	***	個人住宅新築	慎重工事
131	長浜町	132	元浜町	4/23	150.11	3	個人住宅新築	試掘調査
132	長浜町	133	元浜町	5/22	95.74	4	店舗増築	試掘調査
133	長浜町	136	高田町	7/17	101.35	4	店舗新築	試掘調査
134	長浜町	137	元浜町	7/30	314.21	6	店舗併用住宅	試掘調査
135	長浜町	139	宮前町	***	288.15	***	長濱八幡宮参集殿新築	慎重工事
136	長浜町	140	元浜町	1/21	691.81	***	集合住宅・店舗新築	工事立会
137	長浜町	142	朝日町	3/5	197.09	2	個人住宅新築	試掘調査
138	西野薬師堂	2	高月町西野	***	422.63	***	個人住宅新築	慎重工事
139	西柳野館	1	高月町西柳野	***	687.5	***	個人住宅新築	慎重工事
140	野瀬	44	山階町	11/9	547.93	12	店舗新築	試掘調査
141	馬場城	4	新庄馬場町	***	288.37	***	個人住宅増築	慎重工事
142	東屋敷	6	常喜町	***	438.6	***	個人住宅新築	慎重工事
143	福満寺	59	四ツ塚町	5/10	242.63	3	個人住宅新築	試掘調査
144	福満寺	60	勝町	***	123.76	***	店舗新築	慎重工事
145	古橋	3	木之本町古橋	***	324.7	***	農業倉庫新築	慎重工事
146	保延寺館	2	高月町保延寺	***	922.5	***	住宅用物置新築	慎重工事
147	堀大屋敷	1	湖北町留目	***	492.94	***	住宅物置	慎重工事
148	松ノ木塚古墳	2	四ツ塚町	***	152.84	***	個人住宅新築	慎重工事
149	満願寺	1	弓削町	***	209.24	***	個人住宅新築	慎重工事
150	美濃山	2	小谷美濃山町	***	6561.9	***	資材置場	慎重工事
151	室	71	宮司町	***	180.31	***	個人住宅新築	慎重工事
152	室	72	室町	10/3	741.95	10	長屋住宅新築	試掘調査
153	室	73	宮司町	***	746.49	***	分譲宅地	慎重工事
154	室町城居立城	2	室町	10/15～10/17	550	8	寺院庫裡建築	試掘調査
155	物部	18	高月町横山	***	316.72	***	個人住宅新築	慎重工事
156	物部	19	高月町磯野	***	479.42	***	農業用物置新築	慎重工事
157	物部	20	高月町西物部	***	153.12	***	住宅用物置新築	慎重工事
158	物部	21	高月町東物部	***	654.22	***	個人住宅新築	慎重工事
159	物部	22	高月町横山	3/15	159.73	7	個人住宅新築	試掘調査
160	柳野	6	高月町東柳野	***	499.48	***	個人住宅新築	慎重工事
161	柳野	7	高月町柳野中	***	559.33	***	住宅用物置新築	慎重工事
162	柳野	8	高月町柳野中	12/12	1003	4	耐震性貯水槽設置	試掘調査
163	柳野	9	高月町東柳野	***	75.14	***	個人住宅新築	慎重工事

No.	遺跡名	回数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
164	柳野	10	高月町東柳野	***	52.5	***	個人住宅新築	慎重工事
165	八幡東	41	八幡東町	***	202.19	***	個人住宅新築	慎重工事
166	八幡東	42	八幡東町	***	246.29	***	個人住宅新築	慎重工事
167	八幡東	44	八幡東町	***	212.06	***	個人住宅新築	慎重工事
168	山階	13	山階町	***	675.45	***	個人住宅新築	慎重工事
169	山本氏館	1	湖北町	5/28	327.64	2.6	住宅用物置新築	試掘調査
170	八日市	8	湖北町	***	889	***	駐車場造成	慎重工事
171	横山	9	高月町唐川	2/8	367.35	5	個人住宅新築	試掘調査
172	横山城	8	堀部町	2/21～3/19	4368.53	21.9	鉄塔建替	試掘調査 工事立会 慎重工事
173	列見町	35	列見町	***	189.65	***	個人住宅新築	慎重工事

3 公共事業 (24 件)

本発掘調査 1 件、工事立会 20 (10) 件、慎重工事件 3 (1) 件 () 内は県対応

No.	遺跡名	回数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
1	長浜町 妙覚院	126 1	宮前町・大宮町	11/29	1600	***	道路舗装・側溝	工事立会
2	円乗院古墳 円乗院	県対応	湖北町山本	***	1560	***	砂防工事	工事立会
3	法性寺 医王寺 長谷古墳	4 1 1	垣籠町	10/21	632	***	鳥獣害防止施設(防護柵)の 設置	工事立会
4	大円寺	県対応	高月町高月	***	230	***	道路舗装・側溝	工事立会
5	長浜町	134	宮前町	8/30 9/3	2201	***	建物解体	工事立会
6	上山田	県対応	小谷上山田町	***	790	***	農業用排水路改修	工事立会
7	大塚古墳群	県対応	小谷上山田町	***	613	***	農業用排水路改修	工事立会
8	鴨田	26	大辰巳町	***	180	***	市道改良	慎重工事
9	大角 平塚 亀塚古墳 岡の腰古墳 尊勝寺	県対応	尊勝寺町 西野町 山之前町 尊野町	***	3,900	***	用・排水路整備	工事立会
10	宮部	県対応	宮部町	***	450	***	農業用水路の改修	工事立会
11	小谷城城下町	県対応	小谷郡上町	***	215.3	***	農業用水路及暗渠排水設置	工事立会
12	堀大屋敷	県対応	湖北町留目	***	200	***	農業用水路及暗渠排水設置	工事立会
13	田川	県対応	田川町	***	134.6	***	農業用水路の改修	工事立会
14	黒田城	1	木之本町黒田	9/25	1123	***	防災無線整備	工事立会
15	大音	5	木之本町大音	9/26	148	***	防災無線整備	工事立会
16	中居谷	1	木之本町北布施	9/27	124.62	***	防災無線整備	工事立会
17	赤尾	1	木之本町赤尾	10/10	311.62	***	防災無線整備	工事立会
18	古橋	2	木之本町古橋	9/28	413.22	***	防災無線整備	工事立会
19	黒田	19	木之本町黒田	10/6	4416.3	***	防災無線整備	工事立会
20	早崎	県対応	湖北町海老江	***	800	***	排水路改修	工事立会
21	大円寺	9	高月町高月	12/5～ 1/10	510	35	防火水槽設置	本掘調査
22	高月南	47	高月町高月、森本	***	1521.5	***	道路舗装工他	慎重工事
23	長浜城	244	北船町	4/27	1811.29	***	土質調査	工事立会
24	長浜城 長浜町 高田	県対応	北船町	***	9750	***	県道照明灯設置	慎重工事

4 受託事業（11 件）

本発掘調査 3 件、工事立会 8 件

No.	遺跡名	次数	調査地	調査期間	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査原因	調査方法
1	円明寺 室町城居立城	16 3	室町	8/9	123.3	***	ガス低圧管新設	工事立会
2	川崎	99	八幡中山町	***	175.4	***	ガス低圧管新設	工事立会
3	浄琳寺	3	元浜町	11/29	402.78	***	店舗用倉庫新築	工事立会
4	神照寺坊	72	新庄寺町	12/19	102.3	***	ガス低圧管入替	工事立会
5	大円寺	8	高月町落川	8/7～8/27	92.4	32	携帯電話基地局建設	本掘調査
6	長浜城	237	公園町	7/31	3.1	***	ガス低圧管新設	工事立会
7	長浜城	239	北船町	2/4～3/29	4764.13	171.5	店舗新築	本掘調査
8	長浜城 長浜町	238 135	元浜町	9/25	468.87	***	広告塔設置	工事立会
9	長浜城 南呉服町	235 12	北船町	7/21	1.7	***	ガス工事	工事立会
10	長浜町	141	朝日町	2/7	53.1	***	ガス低圧管移設	工事立会
11	室	72	室町	11/19～12/4	741.95	117	長屋住宅新築	本掘調査

5 整理調査

補助事業では平成 24 年度に現地調査を行った宇根遺跡第 4 次調査、大辰巳遺跡第 40 次調査、神照寺坊遺跡第 68 次調査、高月南遺跡第 40 次調査、高月南遺跡第 41 次調査について整理調査を実施した。さらに平成 24 年度以前に補助事業として現地調査を行った大海道・華寺遺跡第 4 次調査、大円寺遺跡第 2 次調査についても整理調査を実施した。これらの調査成果は、小規模開発関連発掘調査報告書として平成 25 年度に刊行予定である。

受託事業では大円寺遺跡第 8 次調査、室遺跡第 72 次調査、公共事業では大円寺遺跡第 9 次調査について整理調査を実施し、報告書の作成および刊行を行った。

第3章 文化財保護普及事業

第1節 先人顕彰事業

地域で先人顕彰や文化財保護・普及活動を行っている下記18団体に対し、賞賜金を交付した。

財団法人石田三成公事蹟顕彰会・国友一貫斎翁顕彰会・小堀遠州公顕彰会・浅井家顕彰会・姉川合戦史蹟保存会・瓜生薬師如来保存会・近江孤蓬庵小堀遠州公史蹟保存会・太田大日如来保存会・木尾大田寺薬師如来保存会・実宰院史跡保存会・大吉寺史蹟保存会・醍醐寺史蹟保存会・醍醐遺跡保存会・当目太鼓踊保存会・南郷町条里立石聖観音保存会・東主計太鼓踊り保存会・三上藤川顕彰会・三田史跡保存会

第2節 文化財説明板設置事業

指定文化財の説明板について年次計画を立て順次設置している。

平成24年度は、例年5月5日に足柄神社で執り行われる市指定無形民俗文化財七条の春祭り、及び同神社所蔵の市指定文化財木造茗荷悪尉、木造大天神の説明板を設置した。



文化財説明板

第3節 平成24年度 第59回文化財防火デー

1 防火訓練

訓練日時 平成25年1月20日（日）午前7時00分から

訓練場所 長浜市川道町 千手院

主催者 千手院、湖北地域消防本長浜消防署東浅井分署、長浜市教育委員会

訓練内容

【訓練の想定】

川道神社境内で落ち葉を焼却中、強風に煽られて飛び火し、西側に隣接する千手院本堂を中心として周りの建物への延焼の危険がある。地元住民が初期消火を試みるが効果なく、延焼拡大した。付近住民から連絡を受け火災を確認した千手院住職が119番通報を行い、消火器を使用し消火を試みるが、火勢優勢のため類焼する危険あり。

【訓練の内容】

拝観者等の安全確保を最優先に、火災の延焼阻止、また指定文化財保護を目的とした消防活動を実施する。

【参加者及び役割分担】

千手院（2人）：通報、初期消火、参拝者誘導、文化財搬出

川道町自治会・自警団（20人）：初期消火、参拝者誘導、文化財搬出

長浜市消防団 びわ方面隊長以下（22人）：放水訓練、文化財搬出、訓練開始・終了報告



放水訓練

長浜消防署 東浅井分署（５人）：統括、放水訓練、講評

長浜消防署 びわ出張所（３人）：放水訓練

東浅井分署（訓練スタッフ）（８人）：放水訓練

長浜市教育委員会（２人）：現場立会い

訓練日時 平成25年１月20日（日）午前８時30分から

訓練場所 長浜市西浅井町山門 善隆寺和蔵堂を中心とした付近一帯

主 催 者 善隆寺、湖北地域消防本長浜消防署伊香分署、長浜市教育委員会

実施内容

【訓練の想定】

和蔵堂南側の雑草が燃えているのを参拝者（３名）及び善隆寺住職が発見。通報し、参拝者は地元消防団に連絡及び初期消火にあたる。初期消火は効果なし。すぐに住職及び参拝者で和蔵堂の文化財を安全な場所へ持ち出す。火は和蔵堂に延焼し、隣接する善隆寺及び住居へも延焼拡大するおそれがある。

【訓練の内容】

指定文化財保護を目的とした消防活動を実施する。参拝者及び善隆寺住職により通報、初期消火、文化財の搬出をおこなう。消防団による放水、消防署による火災防御をおこなう。

【参加者及び役割分担】

西浅井町 山門自治会（５人）：通報、初期消火、参拝者誘導、文化財搬出

善隆寺住職（１人）：通報、初期消火、参拝者誘導、文化財搬出

長浜市消防団 西浅井方面第32分団（約44人）：指揮伝達訓練、中継送水訓練、長距離ホース延長訓練、放水訓練

長浜消防署 伊香分署（10人）：統括、火災防御訓練、講評

長浜市役所 西浅井支所（２人）：現場立会い

長浜市教育委員会（１人）：現場立会い

訓練日時 平成25年１月26日（土）午前８時30分から

訓練場所 長浜市宮司町 総持寺

主 催 者 総持寺、湖北地域消防本長浜消防署、長浜市教育委員会

実施内容

【訓練の想定】

総持寺参拝者のタバコの不始末により境内の枯葉に着火、本堂縁下部に火の粉が入り、火災が発生した。総持寺関係者により通報と同時に、寺関係者と住民が消火器で初期消火を実施するも、火勢は弱まらず、建物全体への延焼拡大の危険がある。また初期消火中に１人が負傷。さらに文化財搬出に本堂へ入った１人が行方不明となる。

【訓練の内容】

総持寺関係者による通報、初期消火、文化財の搬出（保護）を実施。消防職団員および自警団による活動指揮、救出救助、火災延焼阻止を目的とした消防活動を実施。

【参加者及び役割分担】

総持寺：通報、初期消火、文化財搬出

花養寺：通報、初期消火、文化財搬出

宮司西町自治会：初期消火、負傷者役

宮司町（東西）・小堀町・南田附（西町）自警団：活動指揮、救出、火災延焼阻止、放水訓練

長浜市消防団（第5分団）：活動指揮、救出、火災延焼阻止、放水訓練

湖北地域消防本部 長浜消防署：統括、初期消火指導、車両誘導・警備、記録、火災延焼阻止、講評

長浜市教育委員会：現場立会い

2 防火査察

実施日	曜日	担当署	防火査察場所	対象文化財
1月20日	日	東浅井分署	千手院(川道町)	重要文化財木造千手観音立像
		伊香分署	善隆寺和藏堂(西浅井町山門)	重要文化財木造聖観音立像他
			山門公民館(西浅井町山門)	県指定文化財木造馬頭観音坐像
1月21日	月	東浅井分署①	南郷公会堂(南郷町)	市指定文化財木造聖観音立像
			醍醐寺(醍醐町)	重要文化財木造毘沙門天立像他
			光信寺(太田町)	重要文化財木造大日如来坐像
		東浅井分署②	常善寺(酢)	市指定文化財常善寺本堂
			日前神社(五村)	市指定文化財常盤山(山車)
			五村別院(五村)	重要文化財五村別院本堂他
		伊香分署	西徳寺(木之本町赤尾)	重要文化財西徳寺本堂
			渡岸寺観音堂(高月町渡岸寺)	国宝木造十一面観音立像他
1月22日	火	東浅井分署	大田寺(木尾町)	重要文化財木造薬師如来坐像
			日吉神社(瓜生町)	重要文化財木造薬師如来立像
		伊香分署	塩津神社本殿(西浅井町塩津浜)	県指定文化財塩津神社本殿
			辻家住宅(西浅井町祝山)	重要文化財辻家住宅
			阿弥陀寺(西浅井町菅浦)	重要文化財木造阿弥陀如来坐像他
1月23日	水	長浜消防署	長浜八幡宮(宮前町)	梅樹双雀文鏡他
			舎那院(宮前町)	重要文化財舎那院護摩堂他
		東浅井分署	観音堂(大井町)	市指定文化財木造聖観音坐像
			川道地藏堂(川道町)	市指定文化財川道地藏堂
			来現寺(弓削町)	重要文化財木造聖観音立像
			新居神社(新居町)	市指定文化財木造菩薩坐像
			本誓寺(香花寺町)	県指定文化財梵鐘
		伊香分署	上丹生薬師堂(余呉町上丹生)	重要文化財木造薬師如来立像
			全長寺(余呉町池原)	滋賀県指定文化財全長寺本堂
1月24日	木	東浅井分署①	玉泉寺(三川町)	重要文化財木造慈恵大師坐像
			花火の陣屋(宮部町)	市指定文化財花火の陣屋
			宮部西薬師堂(宮部町)	登録文化財宮部西薬師堂
		東浅井分署②	常德寺(湖北町速水)	市指定文化財絹本着色親鸞聖人像
			小谷寺(湖北町伊部)	市指定文化財金銅半跏思惟像他
			岡本神社(小谷丁野町)	市指定文化財木造十一面観音坐像
			和泉神社(小谷上山田町)	市指定文化財和泉神社本殿
		伊香分署	白山神社(高月町尾山)	重要文化財木造釈迦如来坐像
			日吉神社本殿(高月町井口)	県指定文化財日吉神社本殿
1月25日	金	東浅井分署	飯開神社(湖北町延勝寺)	重要文化財髹漆神輿
			常楽寺(湖北町山本)	市指定文化財木造聖観音立像
			湖北町田中 田中神社	市指定文化財木造十一面観音立像
1月26日	土	長浜消防署	総持寺(宮司町)	県指定文化財総持寺大門他
1月27日	日	長浜消防署	神照寺(新庄寺町)	国宝金銀鍍透彫華籠他
1月28日	月	長浜消防署	大通寺(元浜町)	重要文化財大通寺本堂
1月29日	火	長浜消防署	多田幸寺(田村町)	重要文化財木造薬師如来坐像
			知善院(元浜町)	重要文化財木造十一面観音坐像
			旧長浜駅舎(北船町)	県指定文化財旧長浜駅本屋
		伊香分署	浄信寺(木之本町木之本)	重要文化財木造地藏菩薩立像他

第4節 文化財講演会・見学会

文化財保護啓発と長浜市の歴史を学ぶ文化財講演会・見学会を開催した。

1 文化財講演会

長浜市文化財保護センターでは、地域文化財への関心を高め、文化財保護を啓発することを目的として、年1回、文化財に造詣の深い学識経験者を講師として講演会を開催している。本年度は文化財のなかでも生活に一番身近といってよい民俗文化財を取り上げた。

民俗文化財は、衣食住、生業、信仰、年中行事などに関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術など広範に及ぶが、今回の講演会ではその内の民俗芸能を取り上げた。



下余呉の太鼓踊り

演 題：「変貌する民俗芸能と地域社会—下余呉の太鼓踊りを中心に」

講 師：長谷川嘉和（同志社大学文学部非常勤講師・元滋賀県教育委員会文化財課主幹）

日 時：8月19日（日）10:30～12:00 見学会 13:00～15:00

場 所：長浜市余呉町下余呉江土集会所（長浜市下余呉1990）、乎弥神社

参加者：34人

内 容： 滋賀県で多くおこなわれている太鼓踊りに焦点を当て、地域的な特徴や伝承の変化を説明するとともに、民俗芸能が現在の地域社会に果たしている役割の変化を伝えた。講演会后、同日奉納された下余呉の太鼓踊りの見学をおこなった。

2 城郭講演会・見学会

長浜市城郭指定検討推進事業の一環として、長浜市の戦国時代を代表とする城郭や館跡の歴史的価値を市民に普及・啓発するため講演会をおこなった。

（1）講演会「元亀争乱—朝倉義景からみる信長との戦い」

演 題：「元亀争乱—朝倉義景からみる信長との戦い」

講 師：水野和雄氏（元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館館長）

日 時：8月11日（土）13:30～16:00

場 所：湖北公民館

参加者：35人

内 容：元亀争乱は、元亀年間（1570～1573）に湖北地方を主な戦場として、浅井・朝倉と織田信長などによって繰り広げられた緒戦の総称である。

浅井氏と関係が深い朝倉氏の視点から元亀争乱を見ることによって、長浜市の戦国時代の城郭や館跡の歴史的価値の理解を深めることができた。

講演後には浅井氏が京極氏を饗応した時に出された羊羹を再現して試食した。

（2）講演会「賤ヶ岳合戦の城郭探訪シリーズ—賤ヶ岳城郭」

演 題：「賤ヶ岳合戦の城郭探訪シリーズ—賤ヶ岳城郭」

講 師：中井均氏（滋賀県立大学准教授）

日 時：9月17日（月）13:30～16:00

場 所：公立木之本公民館

参加者：20人（応募者は24人、当日参加者は21人）

内 容：賤ヶ岳城跡を実地見学し城跡の構造などの説明をする予定だったが、当日台風によりリフトが運航休止し現地見学はせず、木之本公民館で講演会をおこなった。賤ヶ岳の合戦の柴田勝家軍と羽柴秀吉陣城の陣城配置や攻防について解説を行った。

（3）講演会・見学会「もう一人の義経」

演 題：「もう一人の義経」

講 師：山崎清和副参事（文化財保護センター）

日 時：10月27日（土）13:30～16:30

場 所：朝日山神社社務所、山本氏館跡、常楽寺、山本山

参加者：25人

内 容：源平の合戦で活躍した「もう一人の義経」山本義経の生涯を紹介したのち、山本氏館跡、常楽寺、山本山城跡を実地見学し城跡の構造などの説明をした。

（4）見学会「賤ヶ岳合戦の城郭探訪シリーズ―田上山城跡―」

演 題：「賤ヶ岳合戦の城郭探訪シリーズ―田上山城跡―」

講 師：中井均氏（滋賀県立大学人間文化学部准教授）

日 時：11月3日（土）13:00～16:00

場 所：田上山城跡

参加者：20人

内 容：賤ヶ岳の合戦時、羽柴秀吉が築いた田上山城の説明を、賤ヶ岳の合戦の様子や当時の築城技術などもまじえ現地で解説をおこなった。

（5）講演会「戦国の合戦と武具・武術」

演 題：「戦国の合戦と武具・武術」

講 師：森岡栄一副参事（長浜城歴史博物館）大橋剣心氏（無空心流古武術15代宗家）

日 時：11月17日（土）13:30～15:45

場 所：長浜市民交流センター「ふれあいホール」（長浜市地福寺町4-36）

参加者：25人

内 容：武具・武術から戦国時代の合戦を探った。また、浅井氏にゆかりの深い武具についての解説も行った。講演にあわせて戦国時代から続く無空心流古武術による演武を披露した。



無空心流古武術演舞

第5節 出張講座(出前講座)

文化財保護センターでは、文化財保護啓発事業の一環として、自治会・地域団体や学校、団体の要望に応じて専門職員を講師として派遣する取り組みを行っている。今年度の派遣回数は30回で、参加延べ人数は1454人。地域の歴史や文化財など、身近なテーマでの要望が多かった。

講座の内容等については「講座（講演会・出張講座等）一覧表」のとおりである。



出前講座

講座(講演会・出張講座等)一覧表

実施日	時間	演題	内容	講師	団体名	場所	人数
4/20(金)	16:40～ 18:10	特別講義「長浜曳山まつり」	講演	秀平文忠	京都造形大学通信教育部	京都造形大学瓜生山キャンパス	5人
5/15(火)	13:30～ 14:30	大通寺台所門保存修理の完成報告	現地研修	二宮義信	長浜城歴史博物館友の会美術工芸部会	大通寺	18人
5/23(水)	14:30～ 15:30	子ども歌舞伎を無形文化遺産へ	講演	森口訓男	長浜ユネスコ協会	六荘公民館	16人
5/26(土)	9:00～ 15:20	ふるさとの山を歩こう活動Ⅱ	現地研修	山崎清和	朝日小学校、学校運営協議会、PTA	山本山城跡～賤ヶ岳	348人
5/28(月)	9:00～ 12:00	第6学年「古墳学習」	現地研修	沢村治郎	長浜市立富永小学校	姫塚古墳、松尾宮山古墳、古保利古墳群、父塚古墳	14人
5/30(水)	9:35～ 12:20	「湖北の歴史探訪」	現地研修	山崎清和	長浜市立速水小学校	若宮山古墳、四郷崎古墳 葛籠尾崎湖底遺跡資料館	37人
6/4(月)	12:00～ 13:00	「ゆるぎ山」の古墳	現地研修	黒坂秀樹	長浜市老く連高月支部	高月町唐川ゆるぎ山頂上	130人
6/8(金)	9:30～ 12:10	高月学区の古墳や遺跡について	講演	沢村治郎	高月学区4小学校6年生	高月小学校6年教室	96人
6/23(土)	8:30～ 17:15	探訪「近江水の宝」邦楽器系の里 — 琴系の里を歩く —	現地研修	山崎清和 尾崎好則	滋賀県教育委員会	戦国博きのもと交遊館他	81人
6/24(日)	10:00～ 12:00	古保利古墳群と山本山城 — 琵琶湖を望む古墳と城 —	講演	黒坂秀樹	米原市教育委員会 伊吹山文化資料館	伊吹文化資料館	50人
7/8(日)	10:00～ 12:00	横山城と古墳の利用 — 織田・浅井攻防の舞台 —	講演	牛谷好伸	米原市教育委員会 伊吹山文化資料館	伊吹文化資料館	50人
8/2(木)	19:00～ 20:30	ひばり山古墳と砦	講演	黒坂秀樹	伊部老人会	ひばり山交流会館	40人
8/11(土)	9:00～ 15:00	水とロマンの祭典 — 勾玉づくり —	体験講座	伊藤潔 秀平文忠	水とロマンの祭典実行委員会	尾上公民館	100人
8/25(土)	9:00～ 12:00	六荘地区住民参加の防災フェア — 火起こし体験 —	体験講座	山崎清和 伊藤潔 二宮義信 秀平文忠	六荘地域づくり協議会	六荘公民館	30人
9/8(土)	13:30～ 15:30	土曜学び座	体験学習	伊藤潔	湖北公民館	湖北公民館2階工房	24人
9/20(木)	13:30～ 15:00	「とらひめ散策～ふるさとの観音めぐり～」	現地研修 講演	秀平文忠	虎姫公民館	虎姫公民館2階第2研修室	30人
9/21(金)	13:00～ 17:00	古保利古墳群	現地研修 講演	黒坂秀樹	高月地域づくり協議会	古保利古墳群と高月公民館	6人
9/29(土)	12:00～ 16:00	国史跡下坂氏館跡等	現地研修 講演	森口訓男 県教委	滋賀県教育委員会	福勝寺六荘公民館下坂館跡	94人
10/3(水)	13:35～ 15:25	地域学習「長浜(特に南中学校区)の 伝統文化について」	講演	小林力	長浜市立南中学校	南中学校1年生教室	25人
10/7(日)	13:00～ 15:30	勾玉をつくろう	体験講座	伊藤潔	難波町自治会	びわ町難波町公会堂	20人
10/14(日)	10:00～ 15:00	考古遺物展示説明	遺物説明	牛谷好伸	北郷里フェステバル	北郷里公民館	4人
10/20(土)	13:00～ 15:30	火おこし体験および勾玉づくり	体験学習	山崎清和 黒坂秀樹	伊香具こども活動支援団体	伊香具小学校	50人
11/18(日)	10:00～ 16:00	小谷城の攻防	講演 現地研修	山崎清和	近江歴史回廊推進協議会	曳山博物館、小谷城跡周辺	45人
11/27(火)	9:00～ 15:00	第7回講座 『紅葉の鶏足寺と湖北の仏教文化』	現地研修	秀平文忠	余呉支所 生涯学習 はごろも講座	石道寺、鶏足寺、己高閣、 世代閣、医王寺	11人
12/8(土)	18:30～ 19:30	「歴史と人権」	講演	山崎清和	山本自治会	山本会議所	40人
12/24(月)	13:30～ 15:00	暮らしが生んだ絶景	講演	森口訓男	滋賀県安土城考古博物館	滋賀県安土城考古博物館	40人
2/17(日)	9:30～ 10:30	西上坂の歴史	講演	黒坂秀樹	西上坂老人クラブ長寿会	西上坂会館	60人
2/19(火)	13:30～ 15:00	北郷里の歴史	講演	池寄陽一	長浜東部福祉ステーション	長浜東部福祉ステーション 郷里荘	12人
3/16(土)	13:30～ 15:30	田根公民館講座 「田根地域の歴史について」	講演	黒坂秀樹	田根公民館	田根公民館	18人
3/23(土)	13:30～ 15:00	シリーズ近江の城を探る — 長浜の城を探る —	講演	牛谷好伸	滋賀県安土城考古博物館	滋賀県安土城考古博物館	45人

第6節 埋蔵文化財展示事業

1 文化財保護センター常設展示

展示場所：長浜市文化財保護センター展示室

市内から出土した資料と立体展示台で長浜から出土した遺物をわかりやすく展示している。職員による説明や勾玉作り、火おこし体験、土器に触れる体験学習もできる。



展示室

第7節 見学会

1 市指定文化財大通寺鐘楼保存修理 現場見学会

現場見学会は文化財保護強調月間事業の一環として、市民に向けて現場の公開を行ったもので、平成24年11月24日（土）に開催した。当日は天候にも恵まれ、計40人の参加があった。見学会は、太鼓楼内部において現在までの修理内容の説明を行い、続いて足場上で伝統的な屋根葺技法である桧皮葺作業を間近で見学した。また、最後に足場下で桧皮葺作業の実体験も行った。



鐘楼 現場見学会風景

2 市指定文化財大通寺鐘楼保存修理 完成報告会

平成24年8月から12月に実施された大通寺鐘楼保存修理の完成にともない、平成25年3月16日（土）に完成報告会を開催した。当日は天候にも恵まれ、計31人の参加があった。報告会は、太鼓楼内部において修理経過の写真や発見事項について説明し、続いて完成した鐘楼の見学を行った。



鐘楼 完成報告会風景

第8節 記者発表

記者発表

新指定文化財

- ・長浜市指定文化財の指定について

発表日時 平成24年4月18日 午前11時

- ・長浜市指定文化財の指定について

発表日時 平成25年3月26日 午前10時

資料提供

現地説明会

- ・長浜市指定文化財 大通寺鐘楼保存修理現場見学会のご案内

提供日 平成24年11月8日（木）

- ・長浜市指定文化財 大通寺鐘楼保存修理完成報告会のご案内

提供日 平成25年2月27日（水）

修理事業完成

・長浜市指定文化財 金地墨画梅の図襖（12 面）保存修理の完成について

提供日 平成 25 年 3 月 27 日（水）

第 9 節 刊行図書一覧

平成 23 年度 長浜市文化財保護年報

長浜市埋蔵文化財資料集 第 138 集「平成 23 年度 小規模開発関連発掘調査報告書」

長浜市埋蔵文化財資料集 第 139 集「大円寺遺跡第 8 次調査報告書」

長浜市埋蔵文化財資料集 第 140 集「室遺跡第 72 次調査報告書」

長浜市埋蔵文化財資料集 第 141 集「大円寺遺跡第 9 次調査報告書」

賤ヶ岳合戦関連城郭群総合調査報告書

第 10 節 収蔵文化財の活用

1 閲覧

No.	資 料	日 時
1	川崎遺跡 17 次調査出土遺物・醍醐遺跡出土遺物	5/16 9:00～16:30
2	古保利古墳群小松古墳出土方格規矩鏡、内行花文鏡	5/25 9:00～12:00
3	長浜市内遺跡出土遺物（山茶碗）	6/22 9:00～16:30
4	川崎遺跡 17 次調査SD3・SK1出土遺物	6/20 9:00～16:30
5	口分田北遺跡3・4次調査出土縄文式土器	7/4 9:00～16:30
6	高月南遺跡出土製塩土器	7/2 13:00～17:00
7	物部遺跡出土巴形銅器 1 点	8/7 14:00～16:00
8	五村遺跡出土石杵 1 点	9/5 9:00～17:00
9	長浜市内遺跡出土遺物（須恵器）	9/27 9:00～16:30 10/31 9:00～16:30
10	越前塚遺跡・堀部西遺跡・下坂氏館遺跡・神宮寺遺跡出土遺物（須恵器）	11/21 9:00～16:30
11	小谷城跡出土遺物 10 点	12/18 9:30～16:00

2 貸出

No.	依 頼 者	目 的	資 料	期 間
1	長浜城歴史博物館	特別陳列『発掘から 40 年滋賀県最古の弥生遺跡・川崎遺跡』に関わる展示	川崎遺跡出土土器・石器・木器類等 43 点	4/28～6/3
2	川越市立博物館	市制施行 90 周年記念「日本 100 名城」写真展の展示のため	小谷城写真 1 点	4/28～7/1
3	長浜城歴史博物館	復元複製品製作のため	川崎遺跡出土漆塗短剣飾鞘 1 点	6/3～9/7
4	安土城考古博物館	平成 24 年度春季特別展『湖を見つめた王—継体大王と琵琶湖—』に関わる展示および図録掲載	越前塚古墳・柿田 1 号墳・柿田 2 号墳・古保利古墳群 A-22 号墳出土遺物および写真、計 46 点	4/21～6/17
5	安土城考古博物館	平成 24 年度テーマ展『琵琶湖の神秘・湖底遺跡』に関わる展示	葛籠尾崎湖底遺跡出土鉄鉱石 8 袋	9/8～11/16
6	大阪城天守閣	特別展『秀吉の城』に関わる展示	長浜町遺跡出土陶磁器 4 点	10/6～11/25
7	長浜城歴史博物館	特別陳列『湖北の王たち②—坂田郡・古墳はなぜ造られたのか—』に関わる展示	大戊亥鴨田遺跡・鴨田遺跡・長浜町遺跡・金剛寺遺跡・下坂中町遺跡・川崎遺跡・陣森遺跡出土遺物 12 点	1/30～3/18
8	浅井歴史民俗資料館	企画展『浅井家臣の城館—三田村氏館と湖北の城館—』に関わる展示	尊野城遺跡・三田村氏館遺跡出土遺物 11 点	2/2～3/10

3 掲載

No.	依頼者	掲載	資料	期間
1	クラブツーリズム株式会社カルチャー旅行センター	全国の寺社巡拝の旅のパンフレット『大人の寺旅』『仏像特集』『仏教ホームページ』	千手院木造千手観音像立像(御代仏・重要文化財)写真1点	9/25～11/10
2	有限会社アリカ	琵琶湖ホテルパンフレット『Relax』	知善院蔵木造十一面観音坐像(重要文化財)写真1点	10/31～2/28
3	米原市教育委員会	埋蔵文化財活用事業企画展『北近江考古学事始め』パンフレット	葛籠尾崎湖底遺跡出土土器写真2点	2/12～2/20

第11節 文化財保護普及啓発ポスター

文化財保護普及啓発ポスターを通じて、多くの方に文化財に対する興味と関心、理解をしていただくことを目的に、市内に所在する文化財を題材に製作している。

今年度は、長浜市指定文化財で平成24年3月に滋賀県選択無形民俗文化財に選択された「永久寺の蛇の舞」を題材とした。ポスターは、200部作成し文化財所有者及び関係機関に配布した。



文化財保護普及啓発ポスター

第12節 子ども考古学教室「土器・まがたまづくりにチャレンジ！！」

今年度は会場を2ヵ所に分けて計2回実施した。

- 開催日 第1回 平成24年7月27日(金) 土器づくり
平成24年8月17日(金) 土器焼き・まがたまづくり
- 第2回 平成24年8月3日(金) 土器づくり
平成24年8月24日(金) 土器焼き・まがたまづくり
- 会場 第1回 北郷里公民館(旧長浜・浅井・びわ地区対象)
第2回 余呉小学校(旧湖北・虎姫・高月・余呉・木之本・西浅井地区対象)
- 参加者 第1回 18名
第2回 14名

事業内容

子ども考古学教室は文化財保護センターが主催する市内小学生4年生以上を対象とした体験型事業

で、参加者は土器作りや、まがたまづくりなど体験を通して歴史を学ぶことを目的としている。

今回は合併によって広域化した長浜市で、より多くの小学生に参加して頂くために2ヵ所で開催した。

職員指導の下で手作業による土器とまがたま作りを実施。実物の土器や写真を用いて制作技術などを説明した。

20 日ほど乾燥させた土器を、野焼き（屋外で薪などを燃やす手法）で焼いた。



土器作り体験

第 13 節 広報ながはま

市内には、国県市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いている。445 件に及ぶ指定文化財の中から代表的なものを取り上げ、毎月発行の「広報ながはま」で紹介している。

1 ながはまの文化財 毎月 1 日号掲載

平成 24 年	シリーズ	種 別	名 称
4月1日号	12	国登録	登録有形文化財 ふじ石亭
5月1日号	13	市史跡	姉川古戦場跡
6月1日号	14	国古文書	竹生島文書
7月1日号	15	国特天記念	ニホンカモシカ
8月1日号	16	県選択無形	下余呉の太鼓踊り
9月1日号	17	市考古遺物	葛籠尾崎湖底遺跡出土遺物
10月1日号	18	国古文書	菅浦文書
11月1日号	19	国歴史資料	雨森芳洲関係資料
12月1日号	20	国重文	辻家住宅
平成 25 年			
1月1日号	21	国名勝史跡	竹生島
2月1日号	22	国名勝	慶雲館庭園
3月1日号	23	国選定保存	邦楽器原系製造

2 北近江の観音さま 毎月 15 日号掲載

平成 24 年	シリーズ	種 別	名 称
5月15日号	1	国重文	木造十一面観音立像(鶏足寺蔵)
6月15日号	2	国重文	木造半肉彫千手観音像(神照寺蔵)
7月15日号	3	県指定	木造十一面観音立像(石道寺)
8月15日号	4	市指定	木造十一面観音坐像(岡本神社蔵)
9月15日号	5	市指定	木造千手観音立像(総持寺蔵)
10月15日号	6	市指定	木造聖観音立像(南郷町蔵)
11月15日号	7	市指定	木心乾漆十一面観音立像(菅山寺蔵)
12月15日号	8	市指定	木造聖観音坐像(阿弥陀寺蔵)
平成 25 年			
1月15日号	9	国重文	木造千手観音立像(千手院蔵)
2月15日号	10	市指定	木造菩薩坐像(新居神社蔵)
3月15日号	11	県指定	木造馬頭観音坐像(山門区蔵)

平成 24 年度 長浜市文化財保護年報

滋賀県長浜市教育委員会 文化財保護センター

平成 25 年 7 月

編集：長浜市教育委員会 文化財保護センター

〒526-0845

滋賀県長浜市東上坂町 981 長浜市文化財保護センター

電話 0749-64-0395 Fax 0749-62-6357

印刷：株式会社シバタプロセス印刷